
区の現状把握及び課題抽出のための
アンケート調査報告書
【概要版】

令和5年3月
大田区

目 次

I 調査の実施方法等 1

1	調査の目的	1
2	調査の実施方法・期間等	1
	(1) 対象者	1
	(2) 実施方法	1
	(3) 実施期間	1
	(4) 回収状況	1
3	設問の構成	1
4	報告書を読む際の留意点	2
	(1) 集計結果の端数処理	2
	(2) その他	2

II 調査の結果 3

1	まちのイメージ	3
	(1) 区全体のイメージ	3
	(2) 区の詳細イメージ	4
	(3) 「治安が悪い」と感じた理由	6
	(4) 「マナーが悪い」と感じた理由	7
2	健康	8
	(1) 健康づくりで実践していない行動	8
	(2) 健康づくりでその行動を実践していない理由	9
3	地域活動	10
	(1) 過去1年以内に参加した、かかわった地域活動	10
	(2) 地域活動を始めたきっかけ	11
	(3) 地域活動に取り組んでいない理由	12
	(4) 地域活動に参加するための状況の変化	13
4	妊娠・出産・子育て	14
	(1) 現在、今後の予定及び理想的な子どもの数	14
	(2) 現在と今後の予定の合計が、理想的な子どもの数より少ない理由	16
	(3) 理想的な子どもの数を持つための条件	17
5	教育（子ども達に身につけさせたい力）	19
6	まちづくり	20
	(1) 区外の近隣繁華街へ行く頻度	20
	(2) 区外の近隣繁華街へ行く理由	21
7	新空港線（同線の整備に期待する効果）	22

8	防災	24
	(1) 災害への備えの状況	24
	(2) 災害への備えで実践していない行動	25
	(3) 災害への備えでその行動を実践していない理由	26
9	観光（充実させるべき観光資源）	27
10	文化（新型コロナウイルス感染症の流行前後における文化・芸術活動）	28
	(1) 文化・芸術活動に対する関心	28
	(2) 文化・芸術活動の鑑賞	29
	(3) 文化・芸術に関わる活動	30
11	環境	31
	(1) 環境問題やエネルギー問題に対する意識と行動	31
	(2) 日常生活における省エネ行動	32
	(3) 省エネ行動を実施していない理由	33
12	行政手続のオンライン化	34
	(1) オンラインによる区の行政手続の利用状況	34
	(2) オンラインによる区の行政手続を利用していない理由	35
	(3) 利用経験がある区のオンライン手続の満足度	36
	(4) 区のオンライン手続の満足度が低い理由	37
13	SDGs	38
	(1) SDGsに対する認知度・理解度	38
	(2) SDGsに関する意識と行動	39
	(3) SDGsに関する行動をしていない理由	40
14	定住意向	41
	(1) 今後の定住意向	41
	(2) 区内に住み続けたい・区外へ移り住みたい理由	42
15	施策要望（特に力を入れてほしい施策）	44

I 調査の実施方法等

1 調査の目的

本調査は、まちづくりに関わる幅広い分野を対象に、区内在住の区民の意識等を把握し、区政運営における現状の把握及び今後の課題を抽出するための重要な基礎情報の1つとして活用することを目的として実施したものである。

2 調査の実施方法・期間等

(1) 対象者

住民基本台帳から無作為抽出した、区内在住の満18歳以上の男女4,000人

(2) 実施方法

郵送による調査票の配布、郵送及びWEB（インターネット）による回収

(3) 実施期間

令和4（2022）年11月中旬～12月16日

(4) 回収状況

配布数4,000票、有効回収数1,514件（郵送分1,042件、WEB分472件）、回収率37.9%

3 設問の構成

対象分野	設問番号	設問の概要	回答形式
1 まちのイメージ	問1	区全体のイメージ	単一
	問2	区の詳細イメージ	上位1～3
	問3	区のイメージとして「治安が悪い」と感じた理由	上位1～3
	問4	区のイメージとして「マナーが悪い」と感じた理由	上位1～3
2 健康	問5	健康づくりに関して、実践していない行動	複数
	問6	問5で回答した行動を現在実践していない理由	上位1～3
3 地域活動	問7	過去1年以内で、地域活動に参加した、かかわった経験の有無	上位1～3
	問8	地域活動を始めたきっかけ	単一
	問9	現在、地域活動に取り組んでいない理由	上位1～3
	問10	今後、どのような状況変化があれば地域活動に参加するか	上位1～3
4 妊娠・出産・子育て	問11	現在、今後の予定及び理想的な子どもの数	単一
	問12	現在と今後の予定の合計が、理想的な子どもの数よりも少ない理由	上位1～3
	問13	理想的な子どもの数を持つための条件	単一
5 教育	問14	これからの社会を生きる子ども達に、身につけさせたい力	上位1～3
6 まちづくり	問15	区外の近隣繁華街へ行く頻度	単一
	問16	区外の近隣繁華街へ行く理由	上位1～3
7 新空港線	問17	新空港線の整備にあたり、期待する効果	上位1～3
8 防災	問18	災害への備えの状況	単一
	問19	災害への備えに関して、実践していない行動	複数
	問20	問19で回答した行動について、現在実践していない理由	上位1～3

対象分野	設問番号	設問の概要	回答形式
9 観光	問 21	観光客にとって魅力的なまちとなるために、充実させるべき観光資源	上位1~3
10 文化	問 22	新型コロナウイルス感染症の流行前後における文化・芸術活動	単一
11 環境	問 23	環境問題やエネルギー問題に対する意識と行動	単一
	問 24	日常生活における省エネ行動	単一
	問 25	省エネ行動を実施していない理由	上位1~3
12 行政手続の オンライン化	問 26	オンラインによる区の行政手続の利用状況	単一
	問 27	オンラインによる区の行政手続を利用していない理由	上位1~3
	問 28	利用経験がある区のオンライン手続の満足度	単一
	問 29	オンラインによる区の行政手続の満足度が低い理由	上位1~3
13 SDGs	問 30	SDGsについて知っていたか	単一
	問 31	SDGsに関する意識と行動	単一
	問 32	SDGsに関する行動をしていない理由	上位1~3
14 定住意向	問 33	これからも区内に住みたいと思うか	単一
	問 34	問 33 の回答理由	上位1~3
15 施策要望	問 35	特に力を入れてほしい施策	上位1~3

4 報告書を読む際の留意点

(1) 集計結果の端数処理

- 回答率（回答した人の割合）は、小数点第2位以下を四捨五入して端数処理を行っているため、数値の合計が100%にならない場合や、図表中の合計値と文章中に表記した数値が一致していない場合がある。
- 図表中にある「n」は、設問の回答総数を示している。また、有効ではない回答については、回答総数から除いているため、「n」と有効回収数（1,514件）は必ずしも一致しない場合がある。
- 回答率は、その設問の回答数を母数として算出しているため、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100%を超えている。

(2) その他

- 一般的に母集団が2万人以上の場合、統計上は無限母集団として捉えるため、2,000人程度を対象とすれば母集団全体の意見を反映しているといわれている。本調査は2万人以上の無限母集団であり、対象者数4,000人（有効回収数1,514人）は、統計上有効な数値であると考えられる。
- 本文及び図表中で回答の選択肢の表記が長いものは、適宜、表記を一部簡略化している。
- 「無回答」や「回答しない」が設問の回答率で最も高かった場合、文章中には表記していない。

Ⅱ 調査の結果

1 まちのイメージ

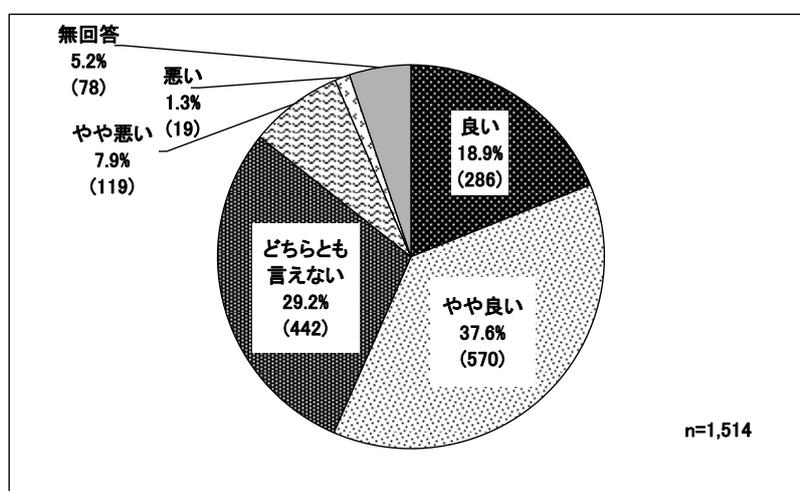
(1) 区全体のイメージ

問1 大田区全体のイメージをご回答ください。(チェックは1つだけ)

－「良い」と「やや良い」の合計は56.5%となっている－

○「良い (18.9%)」と「やや良い (37.6%)」の合計が56.5%で、「やや悪い (7.9%)」と「悪い (1.3%)」の合計の9.1%を大きく上回っている。

図表Ⅱ－1－1 区全体のイメージ



(2) 区の詳細イメージ

問2 大田区の詳細イメージをご回答ください。

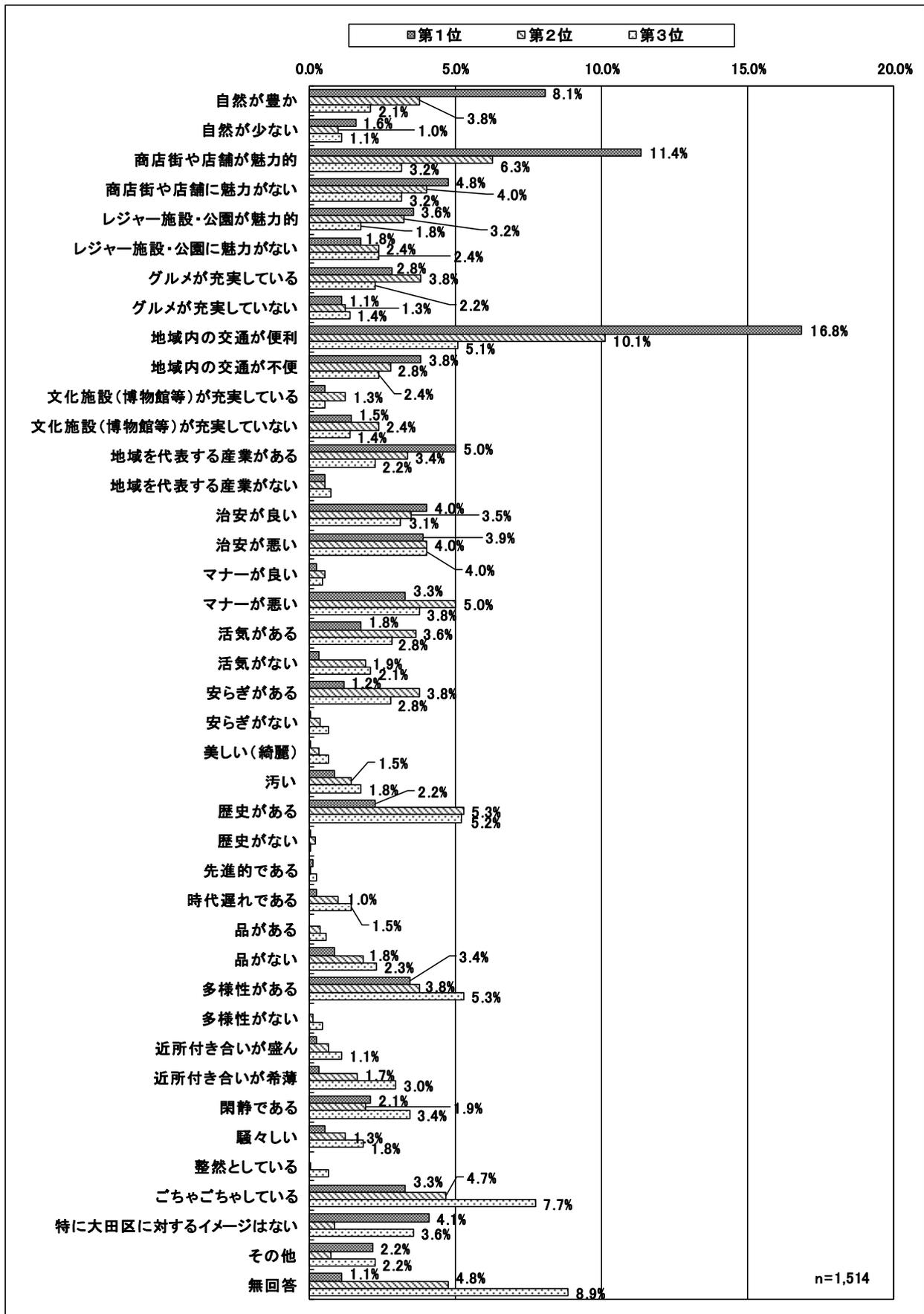
(具体的・抽象的かを問わず、より強いイメージを、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

—第1位は、「地域内の交通が便利」の16.8%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「地域内の交通が便利」の16.8%であり、「商店街や店舗が魅力的」の11.4%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率でも「地域内の交通が便利」が10.1%で最も高くなっている。【図表Ⅱ-1-2】

図表Ⅱ-1-2 区の詳細イメージ

注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



(3) 「治安が悪い」と感じた理由

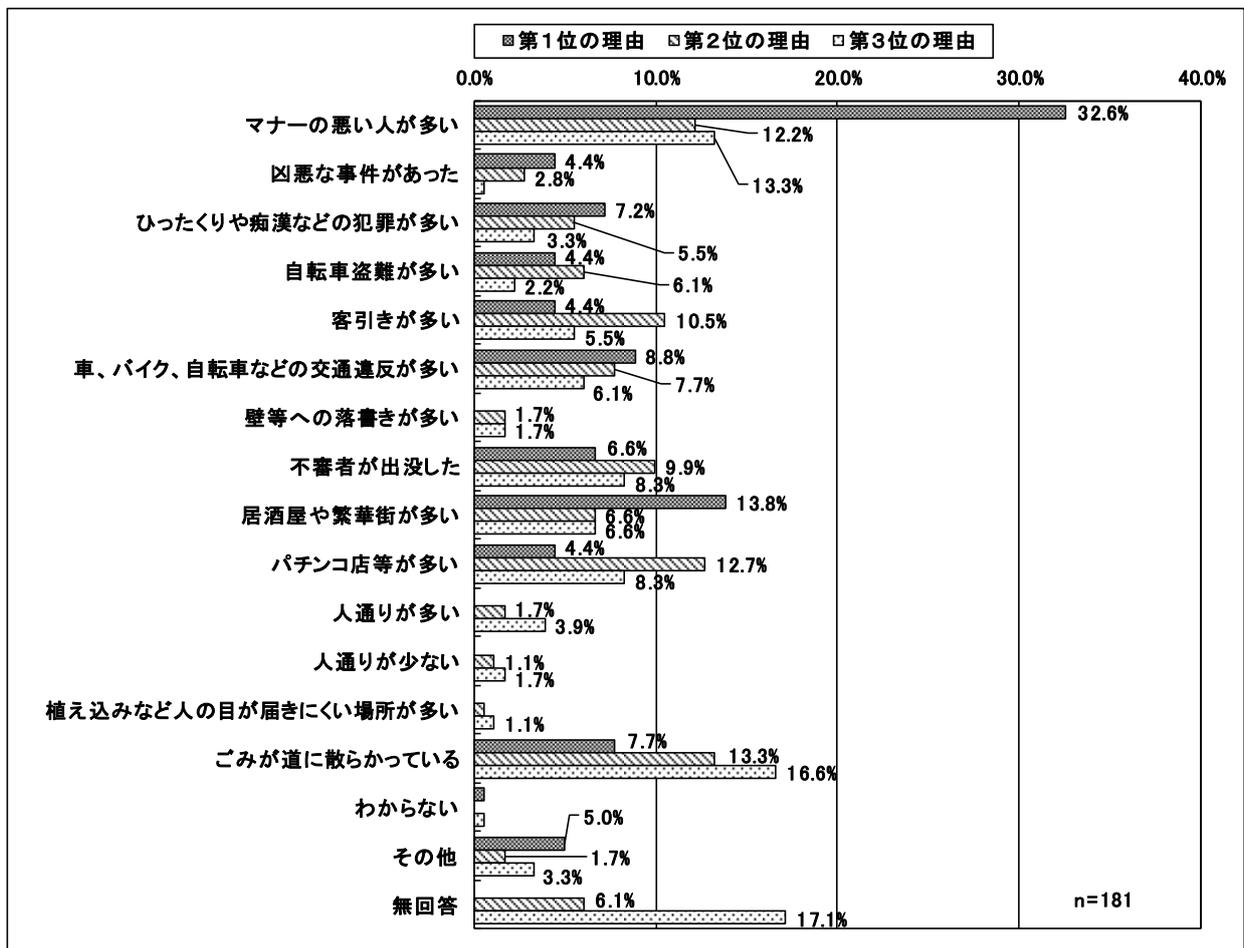
問3 大田区のイメージとして「治安が悪い」と感じた理由をご回答ください。

(具体的な出来事、状況を問わず、より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

—第1位は、「マナーの悪い人が多い」の32.6%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「マナーの悪い人が多い」の32.6%であり、「居酒屋や繁華街が多い」の13.8%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「ごみが道に散らかっている」が13.3%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-1-3 「治安が悪い」と感じた理由
注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



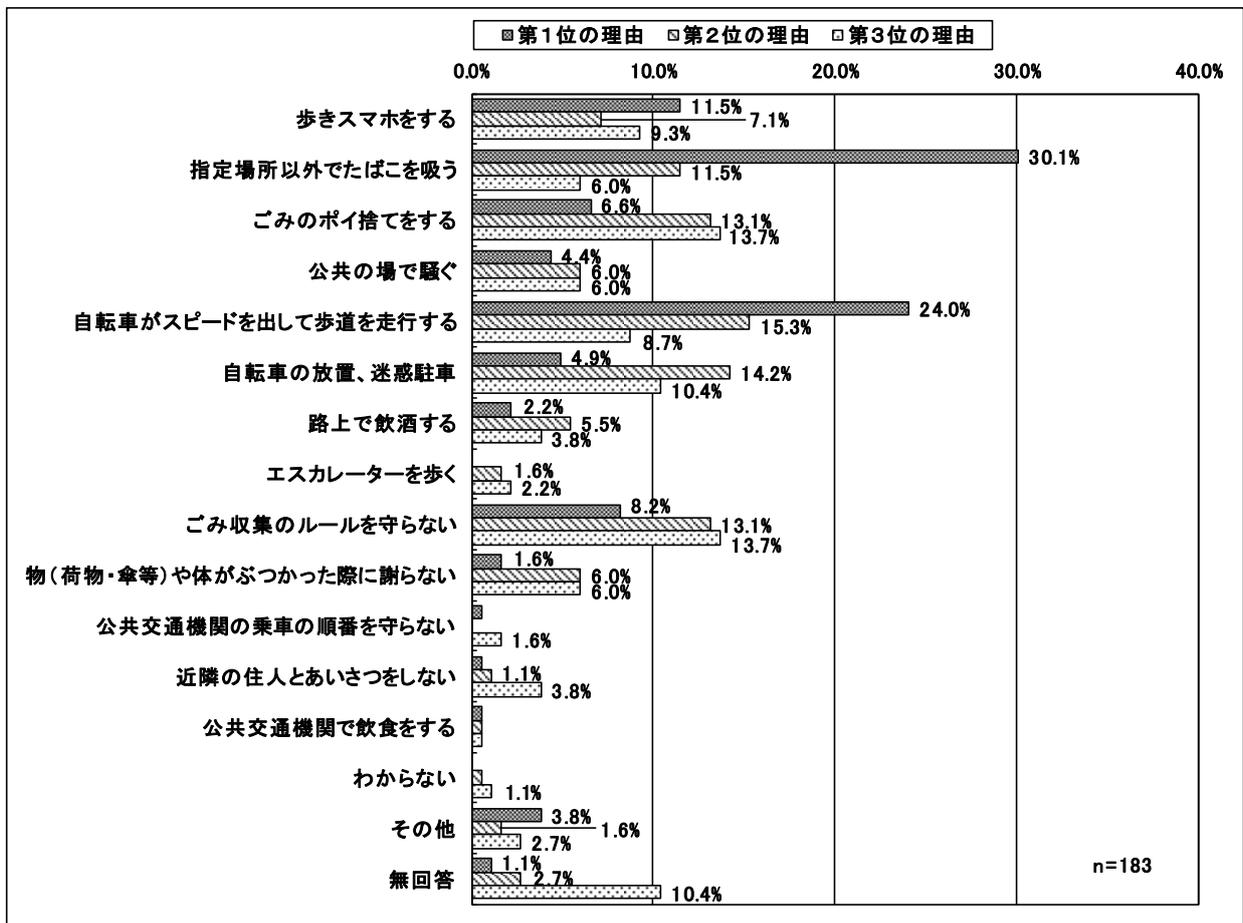
(4) 「マナーが悪い」と感じた理由

問4 大田区のイメージとして「マナーが悪い」と感じた理由をご回答ください。
 (より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

—第1位は、「指定場所以外でたばこを吸う」の30.1%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「指定場所以外でたばこを吸う」の30.1%であり、「自転車スピードを出して歩道を走行する」の24.0%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「指定場所以外でたばこを吸う」の11.5%が最も高くなっている。

図表Ⅱ-1-4 「マナーが悪い」と感じた理由
 注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



2 健康

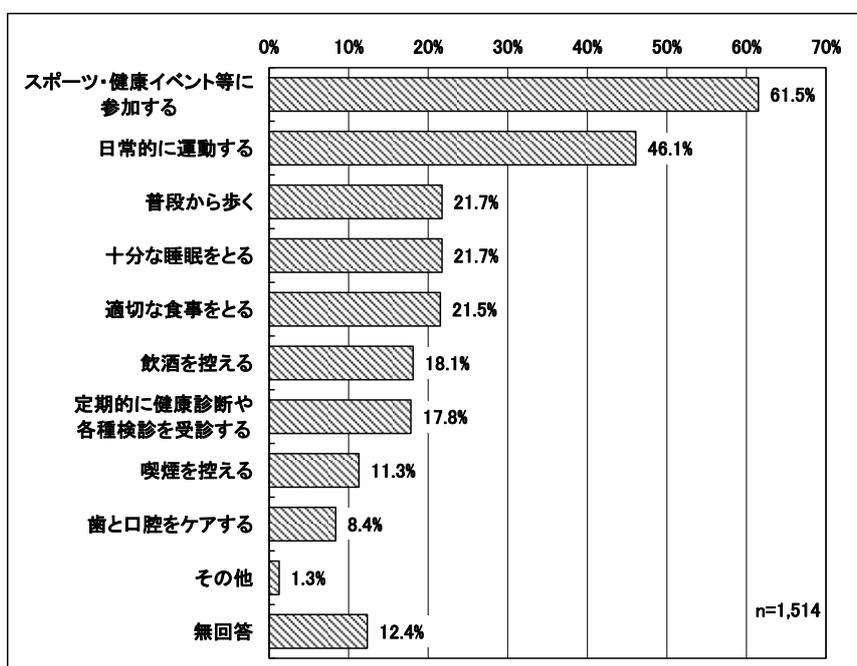
(1) 健康づくりで実践していない行動

問5 健康づくりに関して、実践していない行動についてご回答ください。
(チェックはいくつでも可)

－「スポーツ・健康イベント等に参加する」が61.5%で最も実践していない－

○「スポーツ・健康イベント等に参加する」が61.5%で最も実践しておらず、以下、「日常的に運動する」の46.1%、「普段から歩く」及び「十分な睡眠をとる」の21.7%の順となっている。

図表Ⅱ－２－１ 健康づくりで実践していない行動



(2) 健康づくりでその行動を実践していない理由

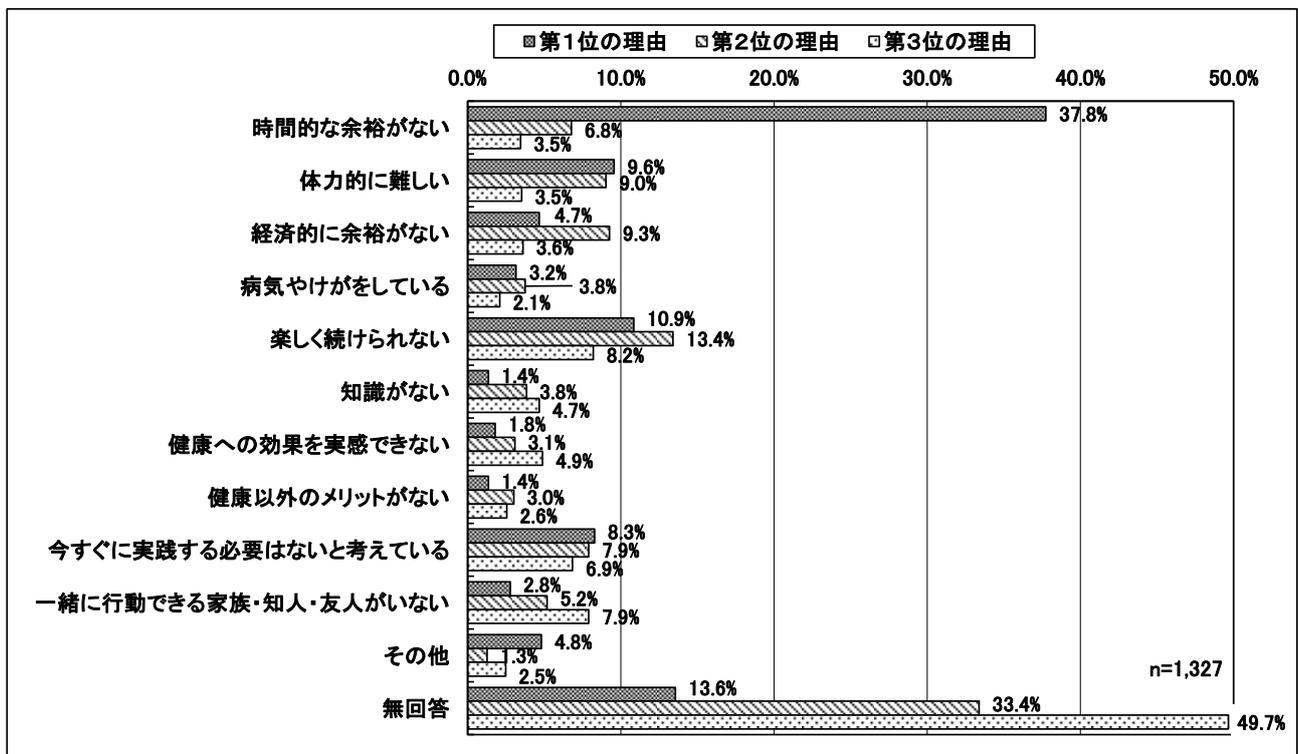
問6 問5で回答した行動について、現在実践していない理由をご回答ください。
 (より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

— 第1位は、「時間的な余裕がない」の37.8%で最も高い —

○第1位の回答率が最も高かったのは、「時間的な余裕がない」の37.8%であり、「楽しく続けられない」の10.9%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「楽しく続けられない」が13.4%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-2-2 健康づくりでその行動を実践していない理由

注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



3 地域活動

【地域活動とは】

地域で開催されるイベントなどに参加し、幅広い世代の人々との繋がりを深めることや、地域が抱える様々な課題の解決に向けた取組を指します。ここでは、趣味などを通じて関わる活動、団体に所属しない活動（自主的なごみ拾いなど）も含まれます。

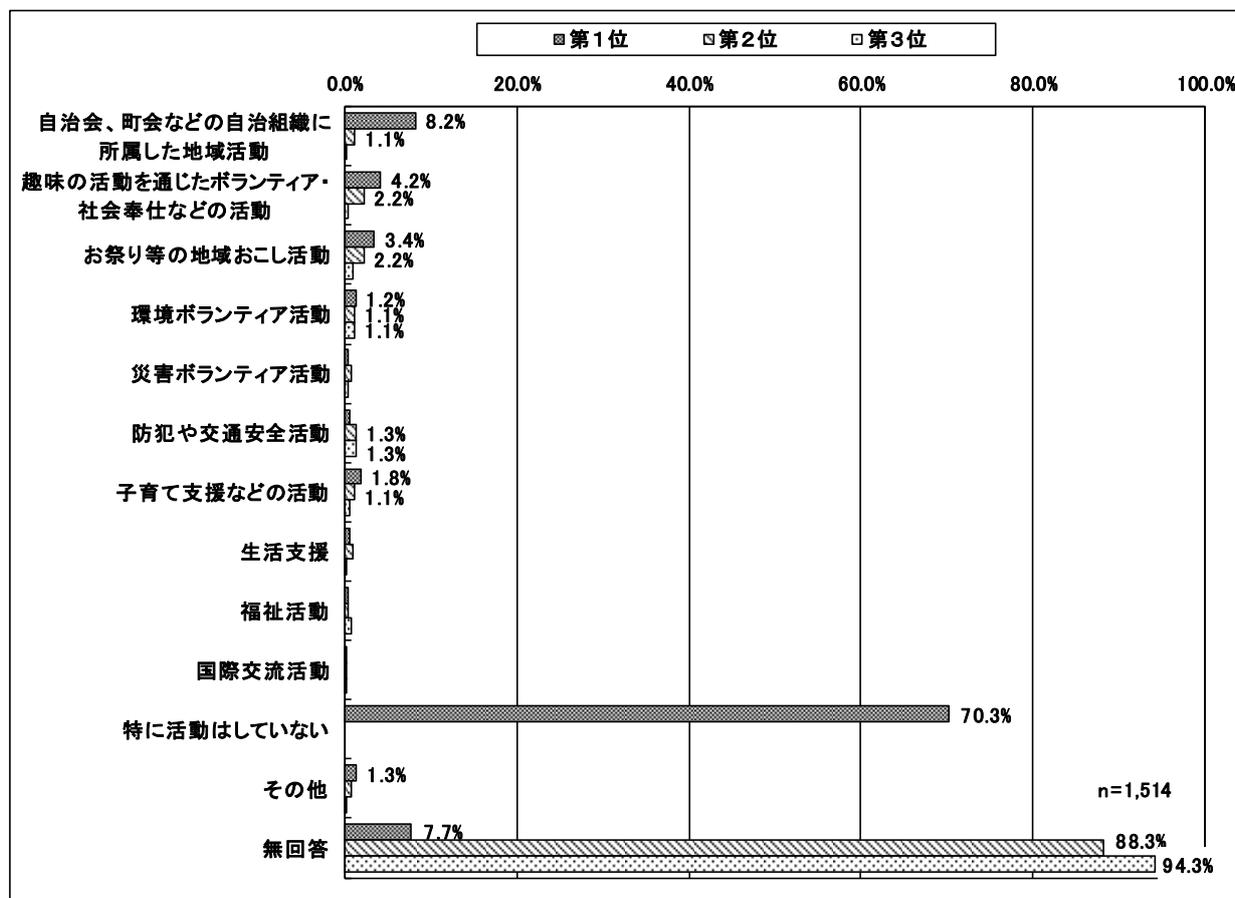
（１）過去１年以内に参加した、かかわった地域活動

問７ 過去１年以内で、地域活動に参加した、かかわった経験の有無についてご回答ください。
 （より重点をおいている活動を、最大３位まで選び、番号をご記入ください）

－第１位は、「特に活動はしていない」の70.3%で最も高い－

○第１位の回答率が最も高かったのは、「特に活動はしていない」の70.3%であり、「自治会、町会などの自治組織に所属した地域活動」の8.2%がこれに次いでいるほか、第２位の回答率では、「趣味の活動を通じたボランティア・社会奉仕などの活動」及び「お祭り等の地域おこし活動」が2.2%で最も高くなっている。

図表Ⅱ－３－１ 過去１年以内に参加した、かかわった地域活動
 注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



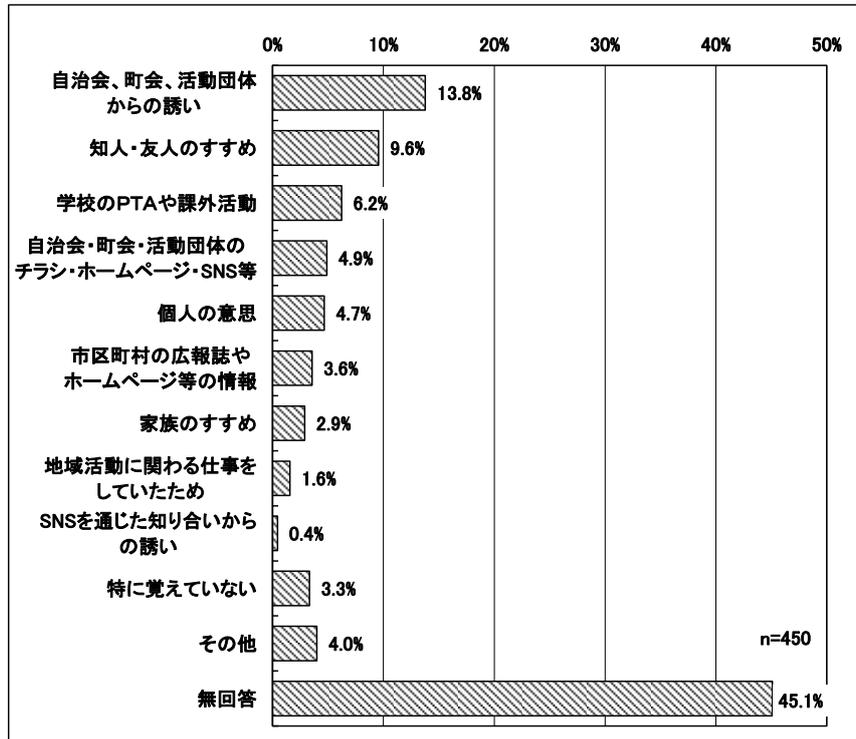
(2) 地域活動を始めたきっかけ

問8 地域活動を始めたきっかけについてご回答ください。(チェックは1つだけ)

－「自治会、町会、活動団体からの誘い」が13.8%で最も高い－

○「自治会、町会、活動団体からの誘い」が13.8%で最も高く、以下、「知人・友人のすすめ」の9.6%、「学校のPTAや課外活動」の6.2%の順となっている。

図表Ⅱ－3－2 地域活動を始めたきっかけ



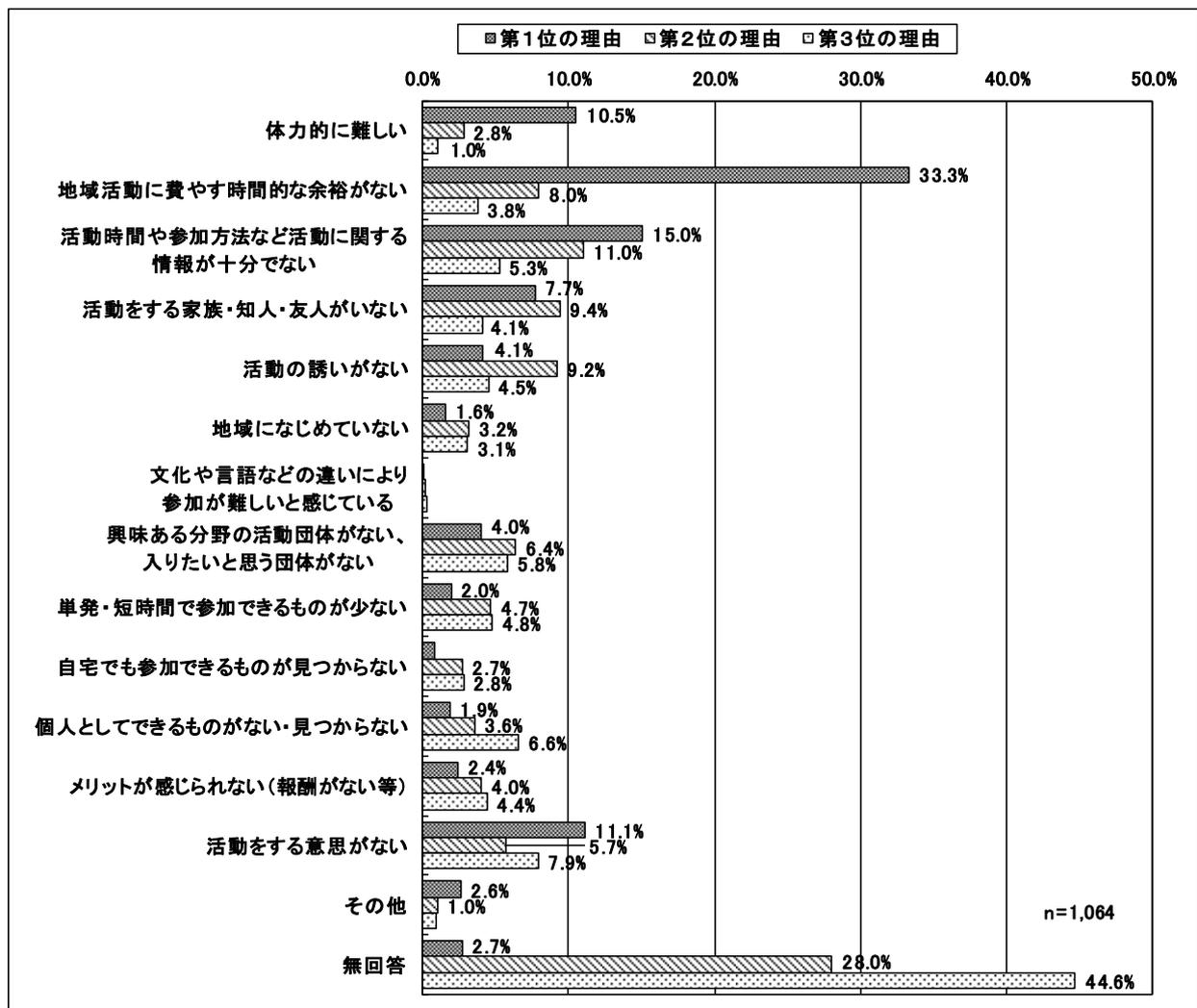
(3) 地域活動に取り組んでいない理由

問9 現在、あなたが地域活動に取り組んでいない理由をご回答ください。
 (より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

— 第1位は、「地域活動に費やす時間的な余裕がない」の33.3%で最も高い —

○第1位の回答率が最も高かったのは、「地域活動に費やす時間的な余裕がない」の33.3%であり、「活動時間や参加方法など活動に関する情報が十分でない」の15.0%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「活動時間や参加方法など活動に関する情報が十分でない」が11.0%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-3-3 地域活動に取り組んでいない理由
 注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



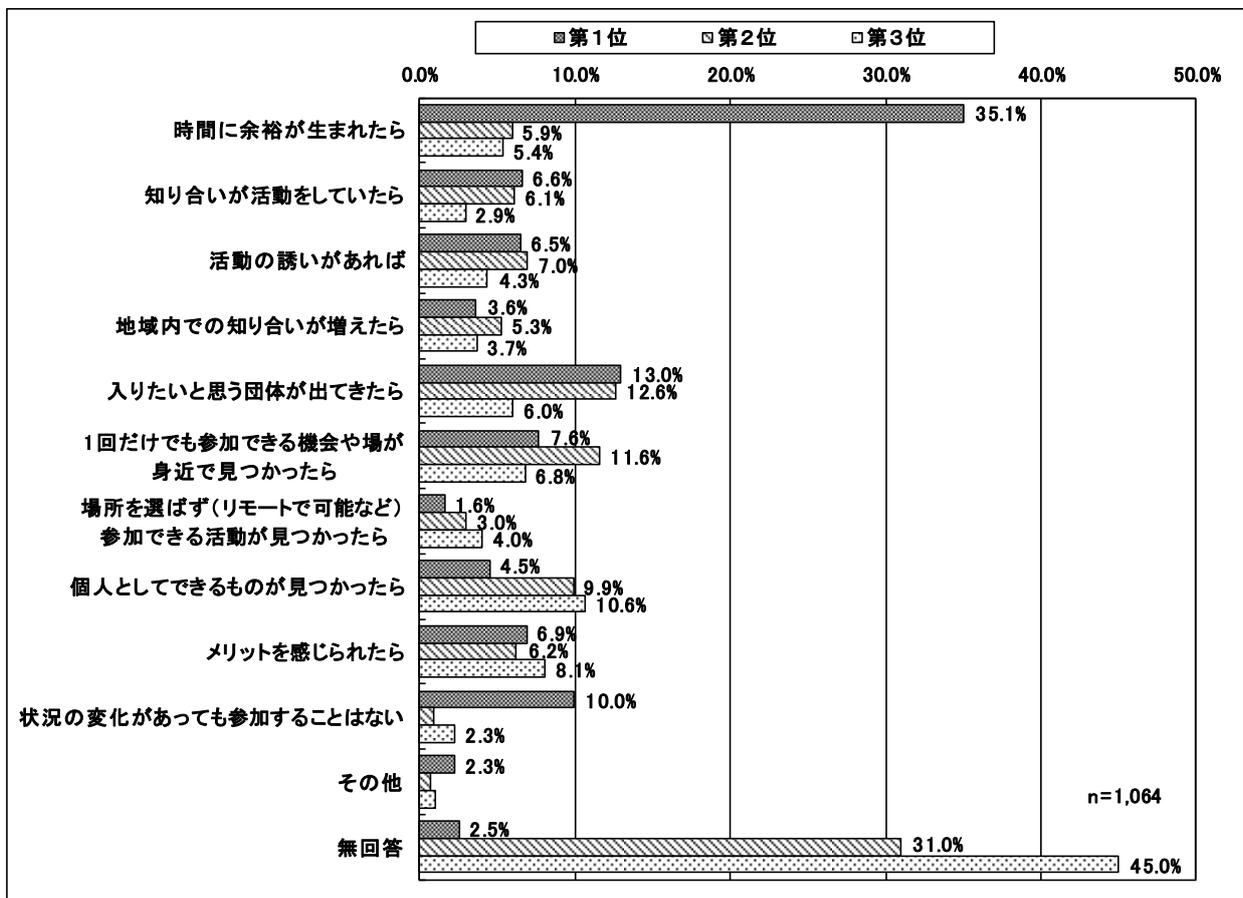
(4) 地域活動に参加するための状況の変化

問 10 今後、どのような状況変化があれば地域活動に参加するかご回答ください。
 (より重要と考える状況変化について、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

— 第1位は、「時間に余裕が生まれたら」の35.1%で最も高い —

○第1位の回答率が最も高かったのは、「時間に余裕が生まれたら」の35.1%であり、「入りたいと思う団体が出てきたら」の13.0%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「入りたいと思う団体が出てきたら」が12.6%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-3-4 地域活動に参加するための状況の変化
 注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



(1) 現在、今後の予定及び理想的な子どもの数

問 11 子どもの数についてご回答ください。(各設問、1つずつチェック)

※以下の文章では、「現在の子どもの数」と「今後の子どもの予定」の合計を、「現実的な子どもの予定数」と表記する。

—20代から40代に関して、
理想的な子どもの数が「1人以上」、「2人以上」、「3人以上」は
それぞれ80.0%、73.5%、26.7%であるのに対し、
現実的な子どもの予定数が「1人以上」、「2人以上」、「3人以上」は
それぞれ60.3%、42.2%、9.9%となっている—

○20代に関して、理想的な子どもの数が「1人以上」、「2人以上」、「3人以上」はそれぞれ70.5%、65.9%、21.2%であるのに対し、現実的な子どもの予定数が「1人以上」、「2人以上」、「3人以上」はそれぞれ41.7%、32.6%、6.1%となっている。

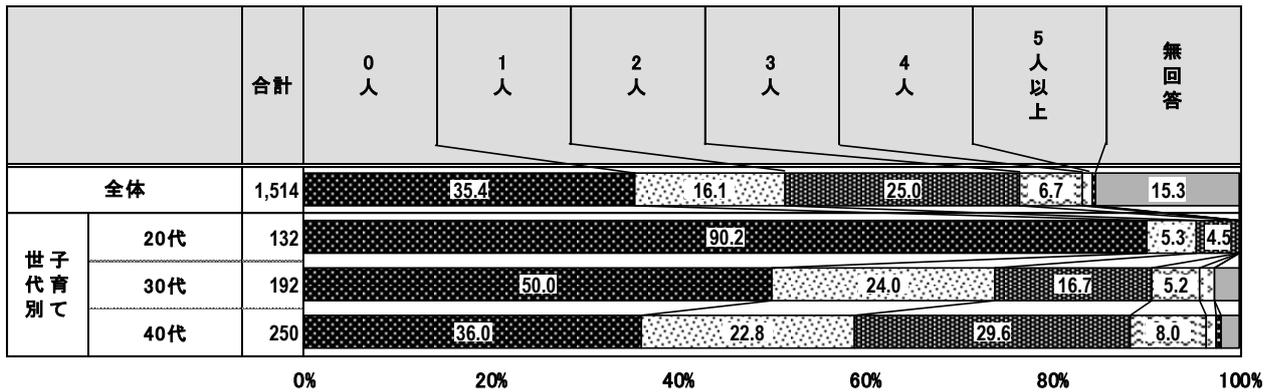
【図表Ⅱ-4-1～4、以下同様】

○30代に関して、理想的な子どもの数が「1人以上」、「2人以上」、「3人以上」はそれぞれ84.4%、77.6%、34.4%であるのに対し、現実的な子どもの予定数が「1人以上」、「2人以上」、「3人以上」はそれぞれ67.2%、49.0%、13.0%となっている。

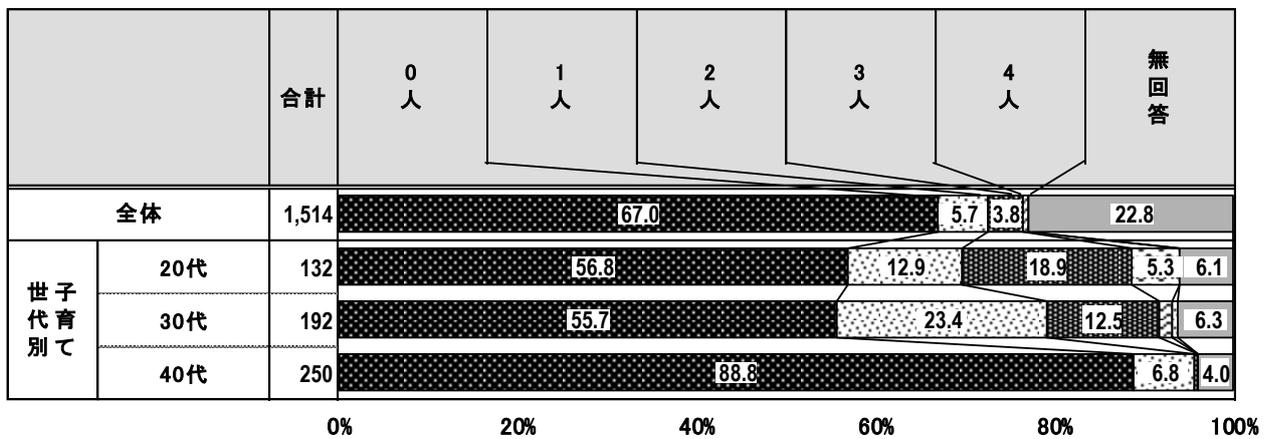
○40代に関して、理想的な子どもの数が「1人以上」、「2人以上」、「3人以上」はそれぞれ81.6%、74.4%、23.6%であるのに対し、現実的な子どもの予定数が「1人以上」、「2人以上」、「3人以上」はそれぞれ64.8%、42.0%、9.6%となっている。

図表Ⅱ-4-1 現在の子どもの数（子育て世代別）

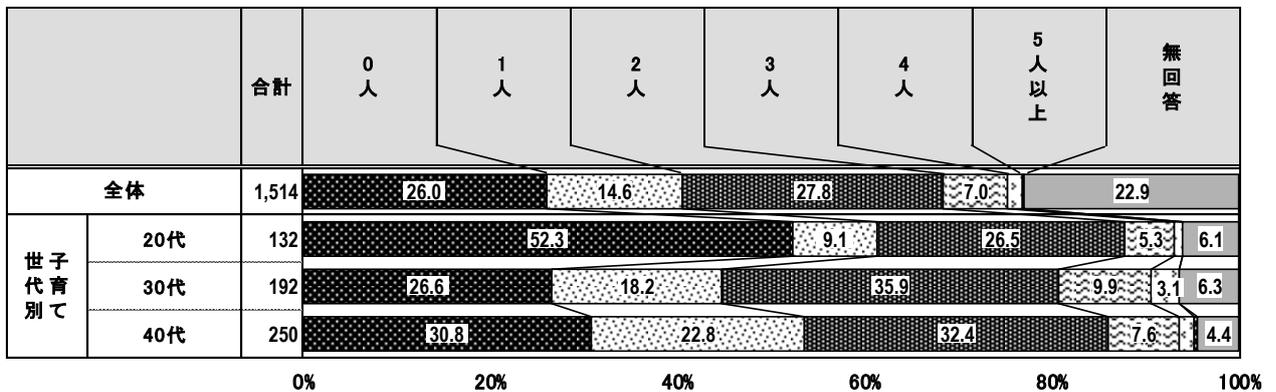
注）グラフの見やすさに配慮し、3%未満は表記を略している。（以下同様）



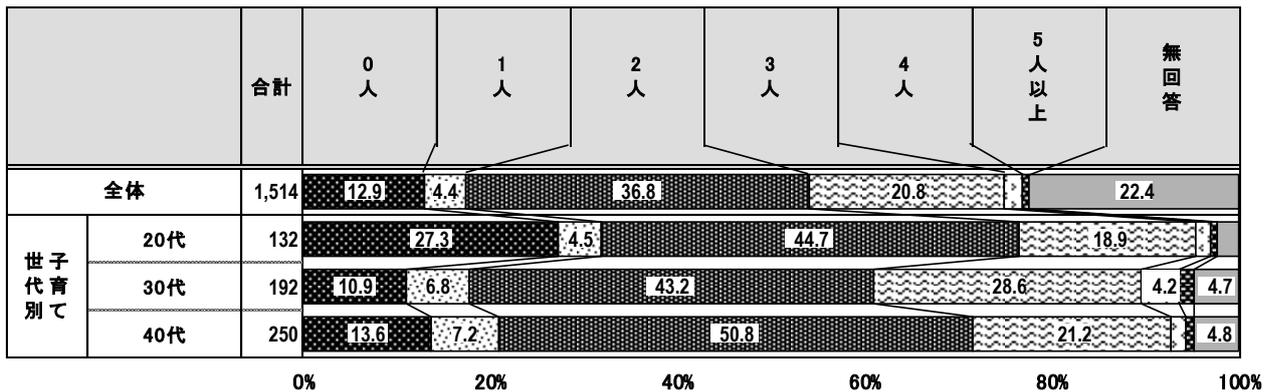
図表Ⅱ-4-2 今後の子どもの予定（子育て世代別）



図表Ⅱ-4-3 現実的な子どもの予定数（子育て世代別）



図表Ⅱ-4-4 理想的な子どもの数（子育て世代別）



(2) 現在と今後の予定の合計が、理想的な子どもの数より少ない理由

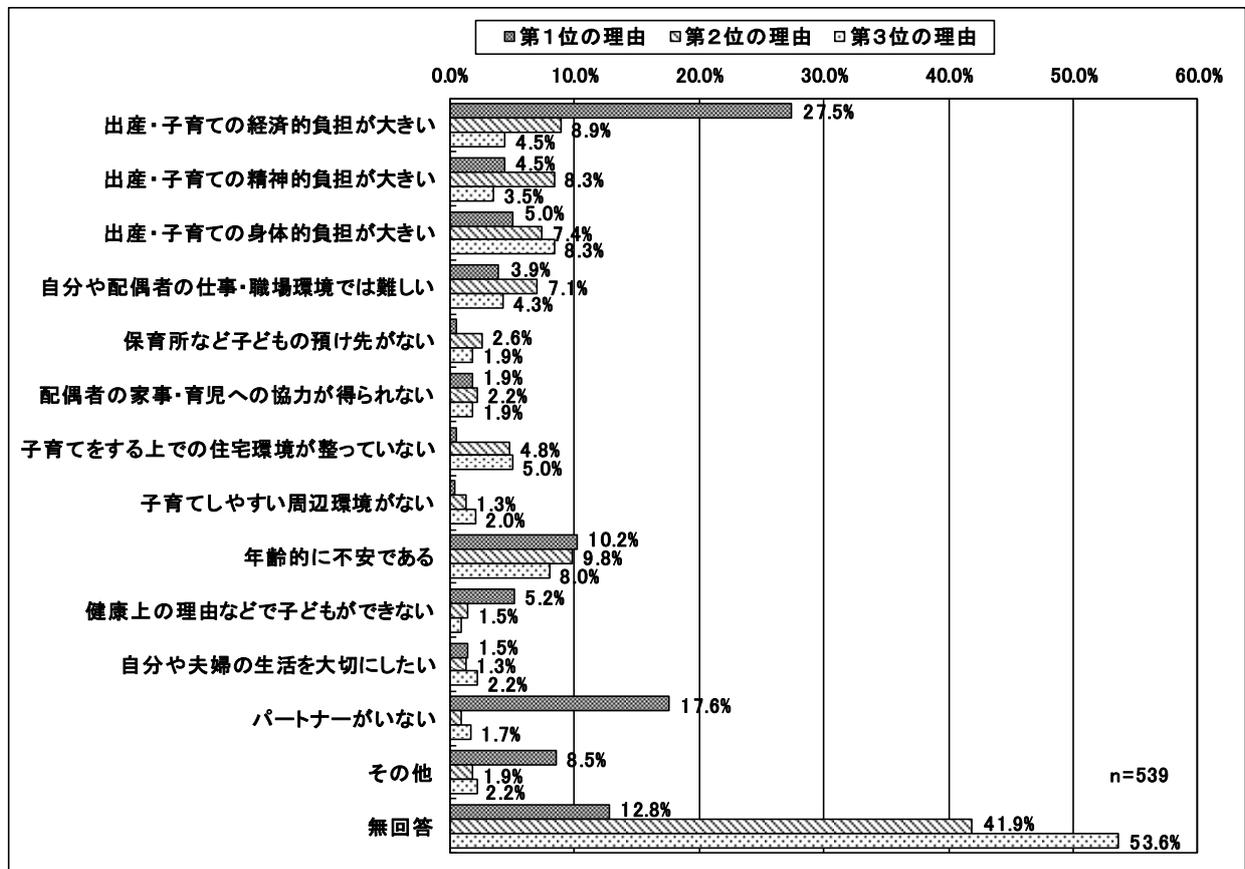
問 12 「①現在の子どもの数」と「②今後の子どもの予定」の合計が、「③理想的な子どもの数」よりも少ない理由をご回答ください。

(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

— 第1位は、「出産・子育ての経済的負担が大きい」の27.5%で最も高い —

○第1位の回答率が最も高かったのは、「出産・子育ての経済的負担が大きい」の27.5%であり、「パートナーがいない」の17.6%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「年齢的に不安である」が9.8%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-4-5 現在と今後の予定の合計が、理想的な子どもの数より少ない理由
注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



(3) 理想的な子どもの数を持つための条件

問 13 次のア～コのうち、どのような条件が整えば、理想的な子どもの数を持つことができると考えますか。ア～コの全ての条件について、1から4のうち、該当する項目をご回答ください。(各条件、1つずつチェック)

ー必須条件は、「イ) 世帯で一定の収入の見込みが立つこと」が
45.6%で最も高いー

○理想的な子どもの数を持つための必須条件では、「イ) 世帯で一定の収入の見込みが立つこと」が45.6%で最も高く、以下、「ウ) 妊娠・出産・子育てにかかる経済的負担が軽減されること」の44.0%、「ア) 自分または配偶者が就業すること」の42.1%の順となっている。

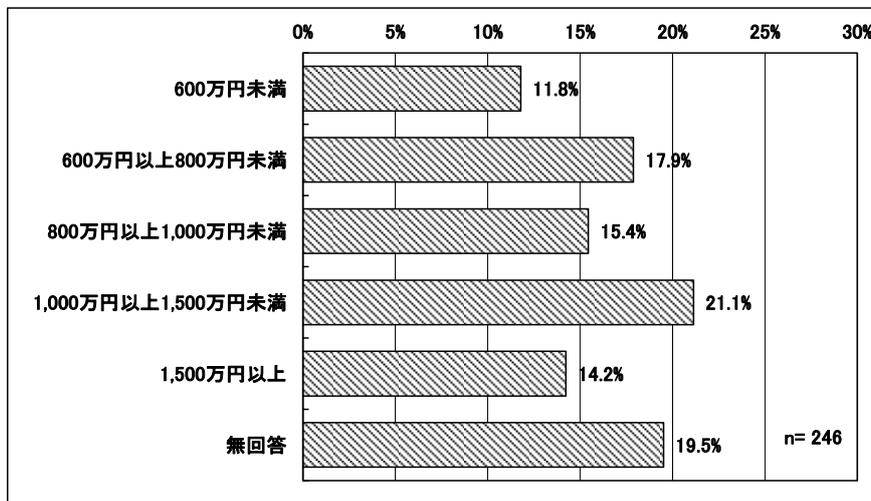
○必須ではないが重要な条件では、「オ) 家事・育児に関わる身体的負担が軽減されること」が32.8%で最も高く、「エ) 身近に妊娠・出産・子育てについて相談できる人がいること」の27.5%がこれに次いでいる。

図表Ⅱ-4-6 理想的な子どもの数を持つための条件

	n=539					無回答
	1 必須を 想的な 条件た ため である はの	2 1 必 条件 に準 では ずる 重要 がな	3 優望 先ま そう 度し ある は 高 く、 が ない	4 直 数 接を 持 た な 子 ど も の 影 響 し う な か い に		
ア) 自分または配偶者が就業すること	42.1		14.1	8.3	14.1	21.3
イ) 世帯で一定の収入の見込みが立つこと	45.6		23.4	4.6	4.5	21.9
ウ) 妊娠・出産・子育てにかかる経済的負担が軽減されること	44.0		23.7	8.3	3.5	20.4
エ) 身近に妊娠・出産・子育てについて相談できる人がいること	22.4	27.5	18.0	10.0		22.1
オ) 家事・育児に関わる身体的負担が軽減されること	28.6		32.8	12.2	5.4	21.0
カ) 仕事や事業の状況が現状よりも落ち着くこと	28.8		27.1	15.8	7.2	21.2
キ) 働きながら子育てができる職場環境になること	39.7		22.1	11.1	7.2	19.9
ク) 地域の保育環境が現状よりも充実すること	31.7		27.3	13.5	6.1	21.3
ケ) 子育てをする上での住宅環境 (住宅の広さや間取り等)が整うこと	31.5		26.9	14.7	5.4	21.5
コ) 子育てしやすい周辺環境が整うこと (子どもと一緒に過ごせる場所が増える等)	28.0		24.9	18.9	6.9	21.3

○「イ）世帯で一定の収入の見込みが立つこと」を必須条件に選択した回答者に目安の年収を質問した結果、「1,000万円以上1,500万円未満」が21.1%で最も高く、以下、「600万円以上800万円未満」の17.9%、「800万円以上1,000万円未満」の15.4%の順となっている。

図表Ⅱ－４－７ 理想的な子どもの数を持つための年収の目安額



5 教育（子ども達に身につけさせたい力）

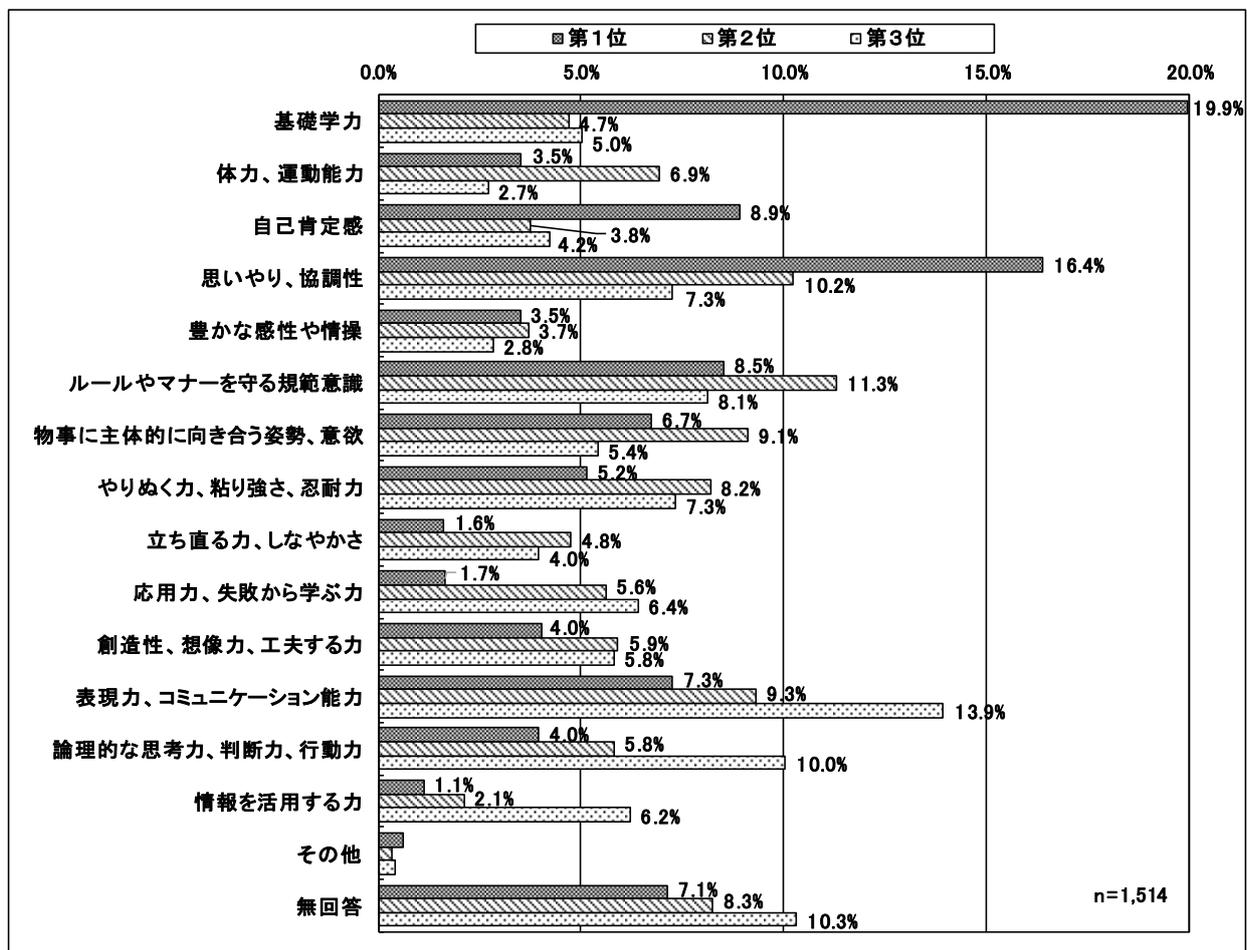
問 14 これからの社会を生きていく子ども達に、どのような力を身につけさせていくべきかをご回答ください。

（より重要度の高い項目を、最大3位まで選び、番号をご記入ください）

－第1位は、「基礎学力」の19.9%で最も高い－

○第1位の回答率が最も高かったのは、「基礎学力」の19.9%であり、「思いやり、協調性」の16.4%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「ルールやマナーを守る規範意識」が11.3%で最も高くなっている。

図表Ⅱ－5－1 子ども達に身につけさせたい力
注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



6 まちづくり

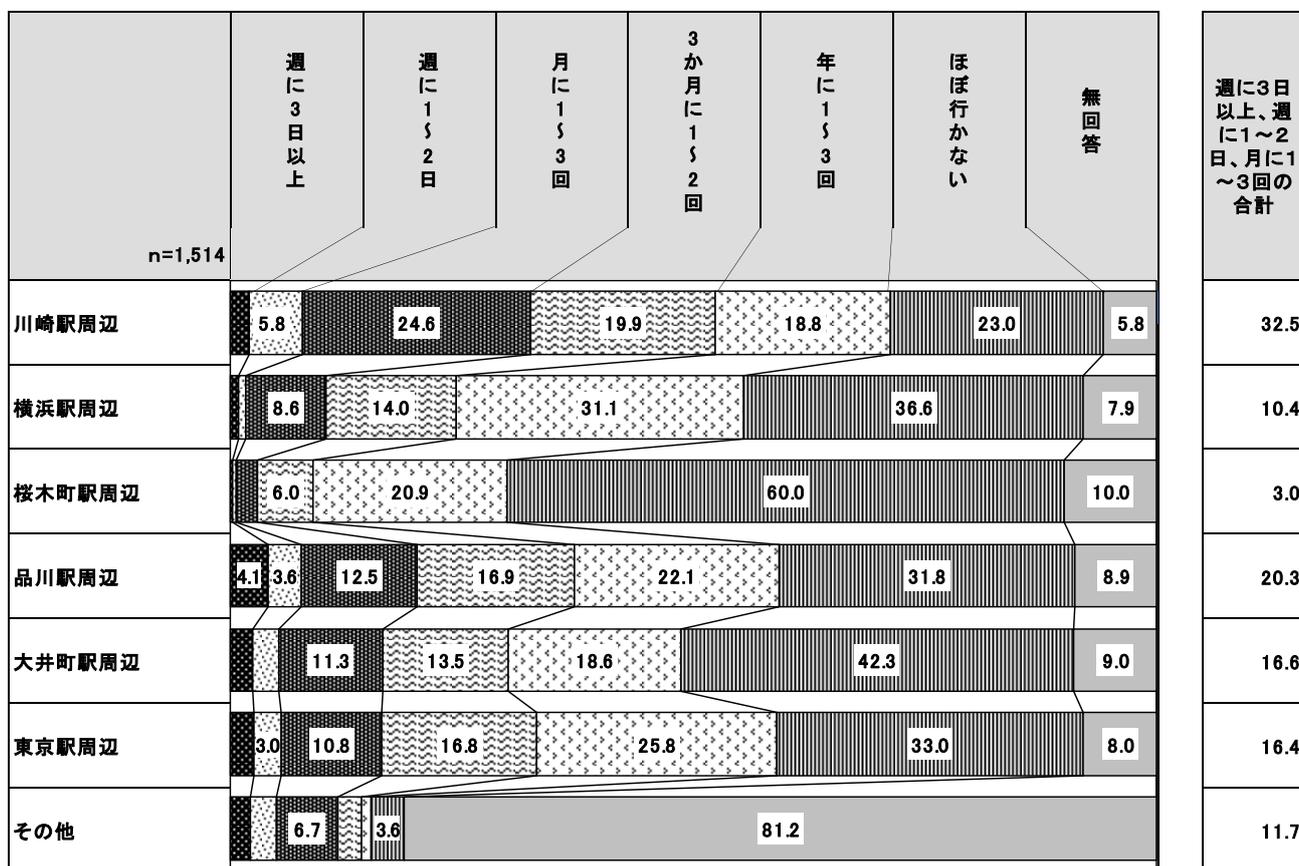
(1) 区外の近隣繁華街へ行く頻度

問 15 大田区以外の近隣繁華街へどのくらいの頻度で行くかご回答ください。
(各駅周辺、1つずつチェック)

－「週に3日以上」、「週に1～2日」及び「月に1～3回」の合計は、
川崎駅周辺が32.5%で最も高い－

○「週に3日以上」、「週に1～2日」及び「月に1～3回」の合計は、川崎駅周辺が32.5%で最も高く、以下、「品川駅周辺」の20.3%、「大井町駅周辺」の16.6%の順となっている。

図表Ⅱ－6－1 区外の近隣繁華街へ行く頻度
注) グラフの見やすさに配慮し、3%未満は表記を略している。



(2) 区外の近隣繁華街へ行く理由

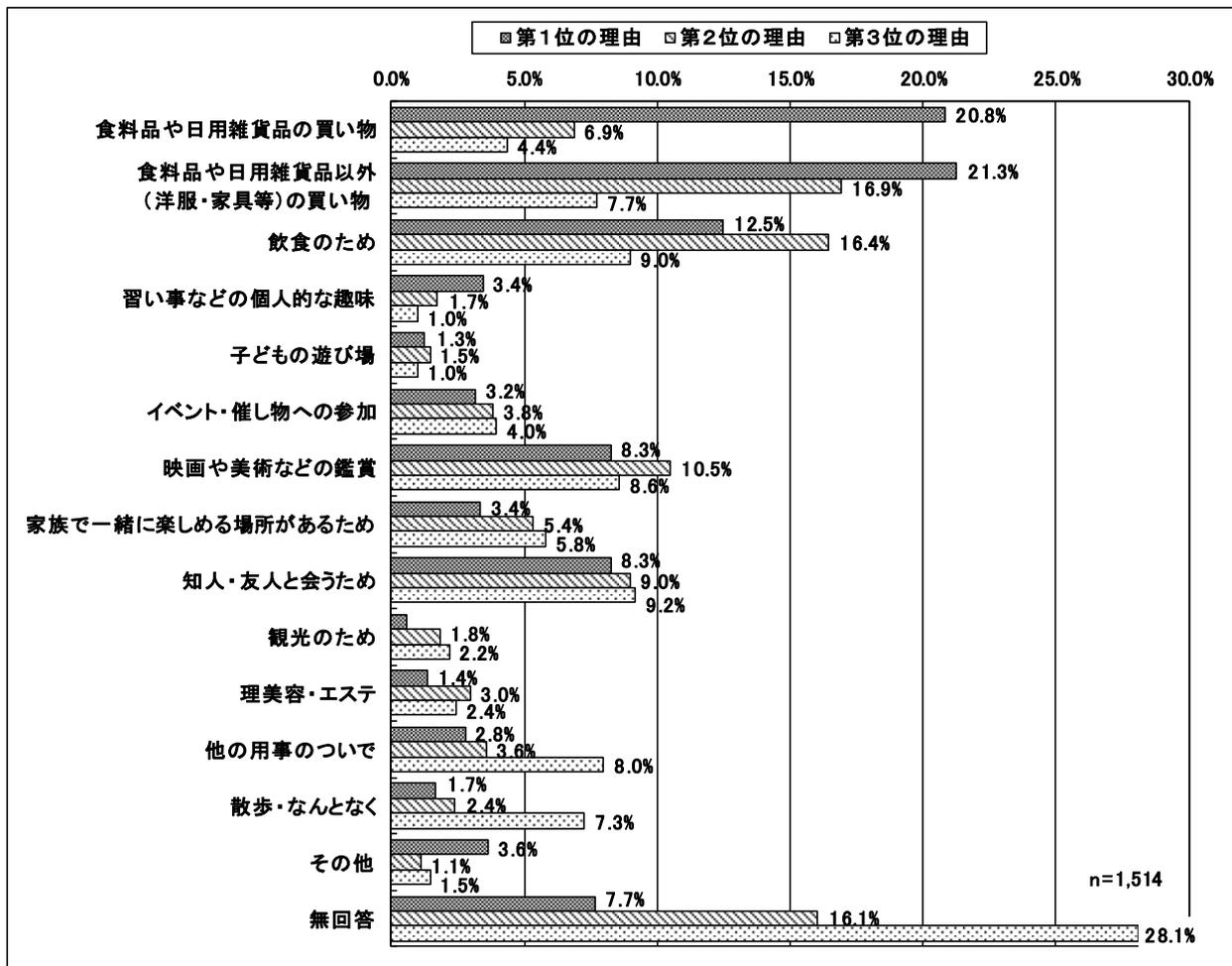
問 16 大田区以外の近隣繁華街へ行く理由についてご回答ください。

(より頻度の高いものを、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

—第1位は、「食料品や日用雑貨品以外（洋服・家具等）の買い物」
の21.3%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「食料品や日用雑貨品以外（洋服・家具等）の買い物」の21.3%であり、「食料品や日用雑貨品の買い物」の20.8%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率でも「食料品や日用雑貨品以外（洋服・家具等）の買い物」が16.9%で最も高くなっている。

図表Ⅱ－6－2 区外の近隣繁華街へ行く理由
注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



7 新空港線（同線の整備に期待する効果）

【新空港線とは】

新空港線は、矢口渡駅と蒲田駅の間で多摩川線を地下化し、新設する東急蒲田駅の地下ホームから京急蒲田駅（地下）を通して、大鳥居駅の手前で京急空港線に乗り入れる計画です。

このうち、一期整備（矢口渡駅～京急蒲田駅）において、都区間の費用負担割合などについて東京都と大田区で合意し、事業化に向けて大きな一歩を踏み出しました。

今後、一期整備の事業化や二期整備（京急蒲田駅～大鳥居駅）の進展など、新空港線整備を着実に推進するとともに、沿線のまちづくりも同時に進めていきます。

問 17 新空港線の整備にあたり、あなたが期待する効果についてご回答ください。

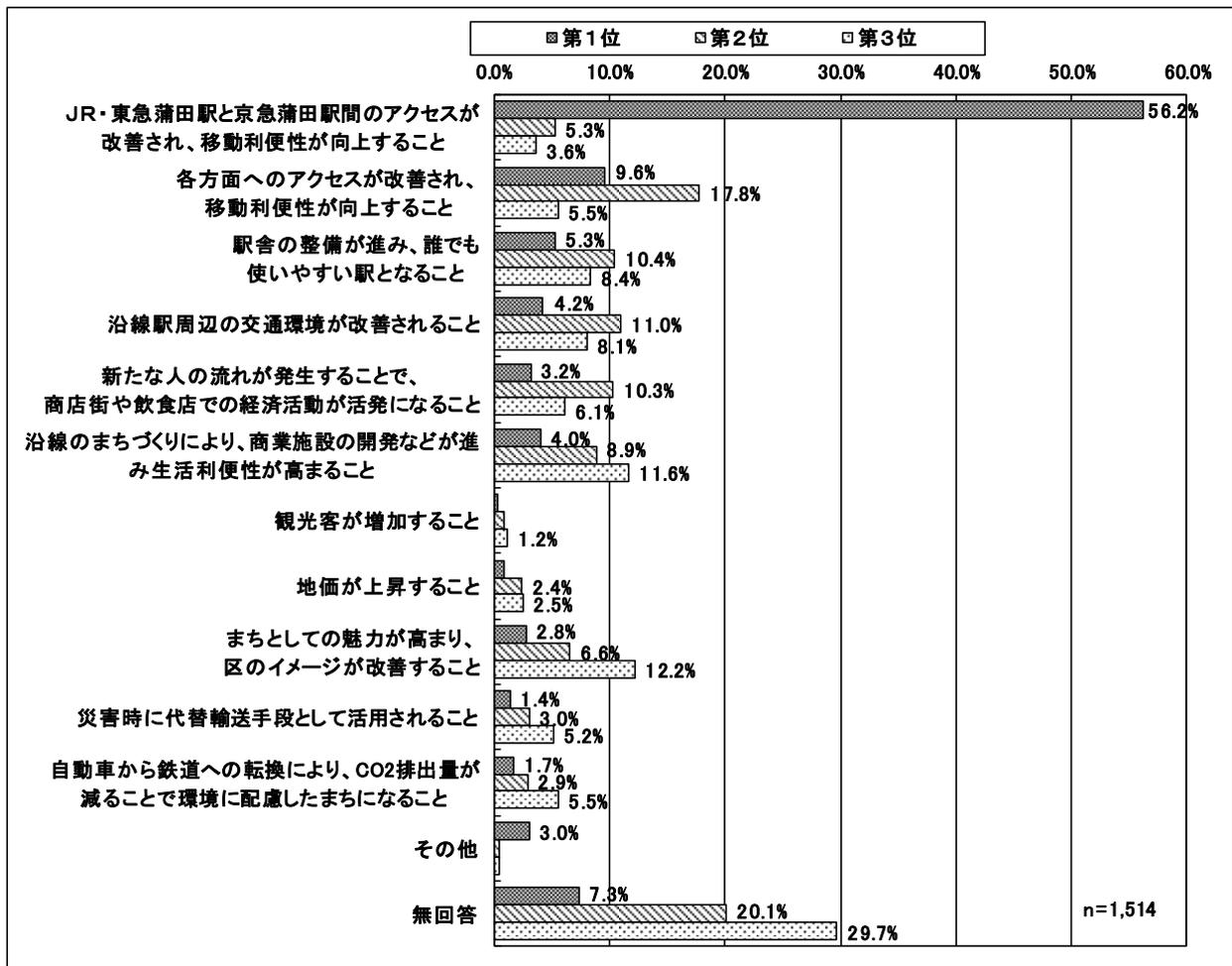
（より期待する効果を、最大3位まで選び、番号をご記入ください）

—第1位は、「JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅間のアクセスが改善され、 移動利便性が向上すること」の56.2%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅間のアクセスが改善され、移動利便性が向上すること」の56.2%であり、「各方面へのアクセスが改善され、移動利便性が向上すること」の9.6%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「各方面へのアクセスが改善され、移動利便性が向上すること」が17.8%で最も高くなっている。

【図表Ⅱ-7-1】

図表Ⅱ-7-1 新空港線の整備に期待する効果
 注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



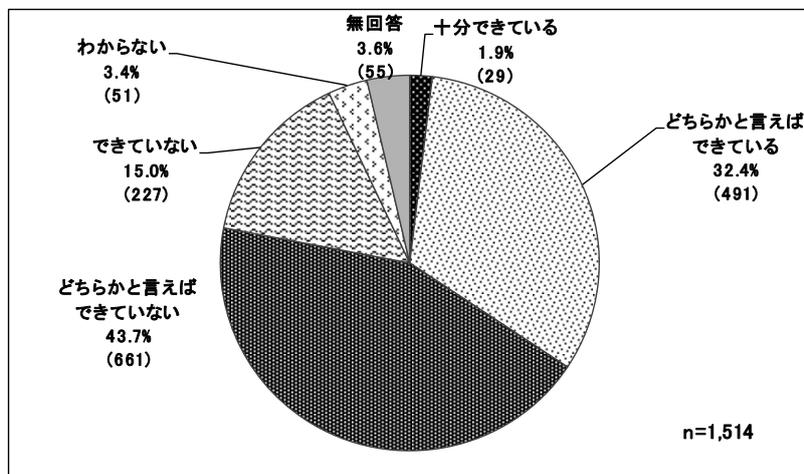
(1) 災害への備えの状況

問 18 ご自身の災害への備えについてご回答ください。(チェックは1つだけ)

－「十分できている」と「どちらかと言えはできている」の合計は 34.3%となっている－

○「十分できている (1.9%)」と「どちらかと言えはできている (32.4%)」の合計が 34.3%で、「どちらかと言えはできていない (43.7%)」と「できていない (15.0%)」の合計の 58.7%を大きく下回っている。

図表Ⅱ－8－1 災害への備えの状況



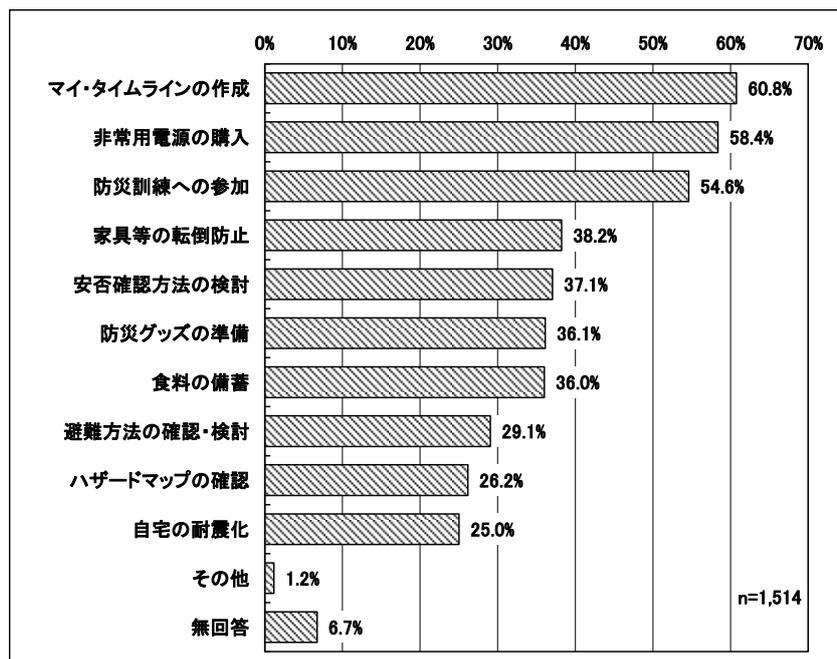
(2) 災害への備えで実践していない行動

問 19 災害への備えに関して、実践していない行動についてご回答ください。
(チェックはいくつでも可)

－「マイ・タイムラインの作成」が60.8%で最も実践していない－

○「マイ・タイムラインの作成」が60.8%で最も実践しておらず、以下、「非常用電源の購入」の58.4%、「防災訓練への参加」の54.6%の順となっている。

図表Ⅱ－8－2 災害への備えで実践していない行動



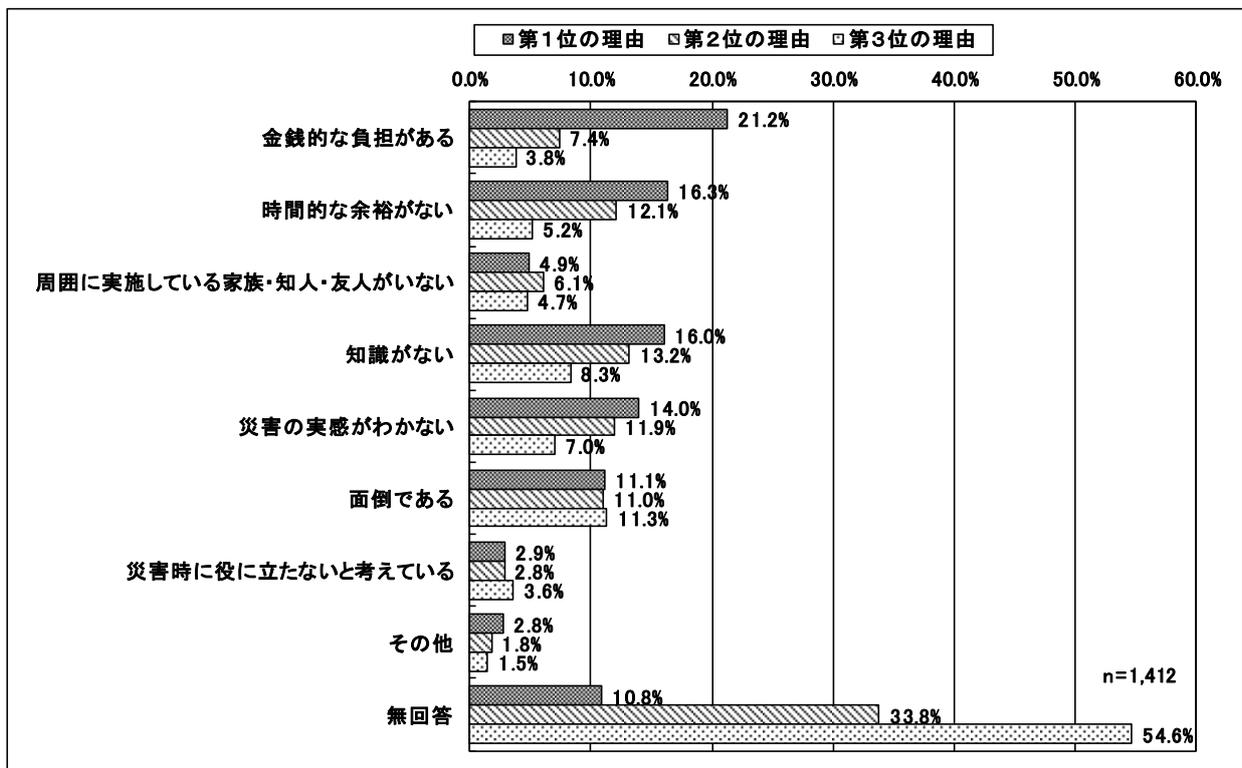
(3) 災害への備えでその行動を実践していない理由

問 20 問 19 で回答した行動について、現在実践していない理由をご回答ください。
 (より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

— 第1位は、「金銭的な負担がある」の21.2%で最も高い —

○第1位の回答率が最も高かったのは、「金銭的な負担がある」の21.2%であり、「時間的な余裕がない」の16.3%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「知識がない」が13.2%で最も高くなっている。

図表Ⅱ－8－3 災害への備えでその行動を実践していない理由



9 観光（充実させるべき観光資源）

問 21 大田区が観光客にとって魅力的なまちになるためには、どのような観光資源を充実させるべきかご回答ください。

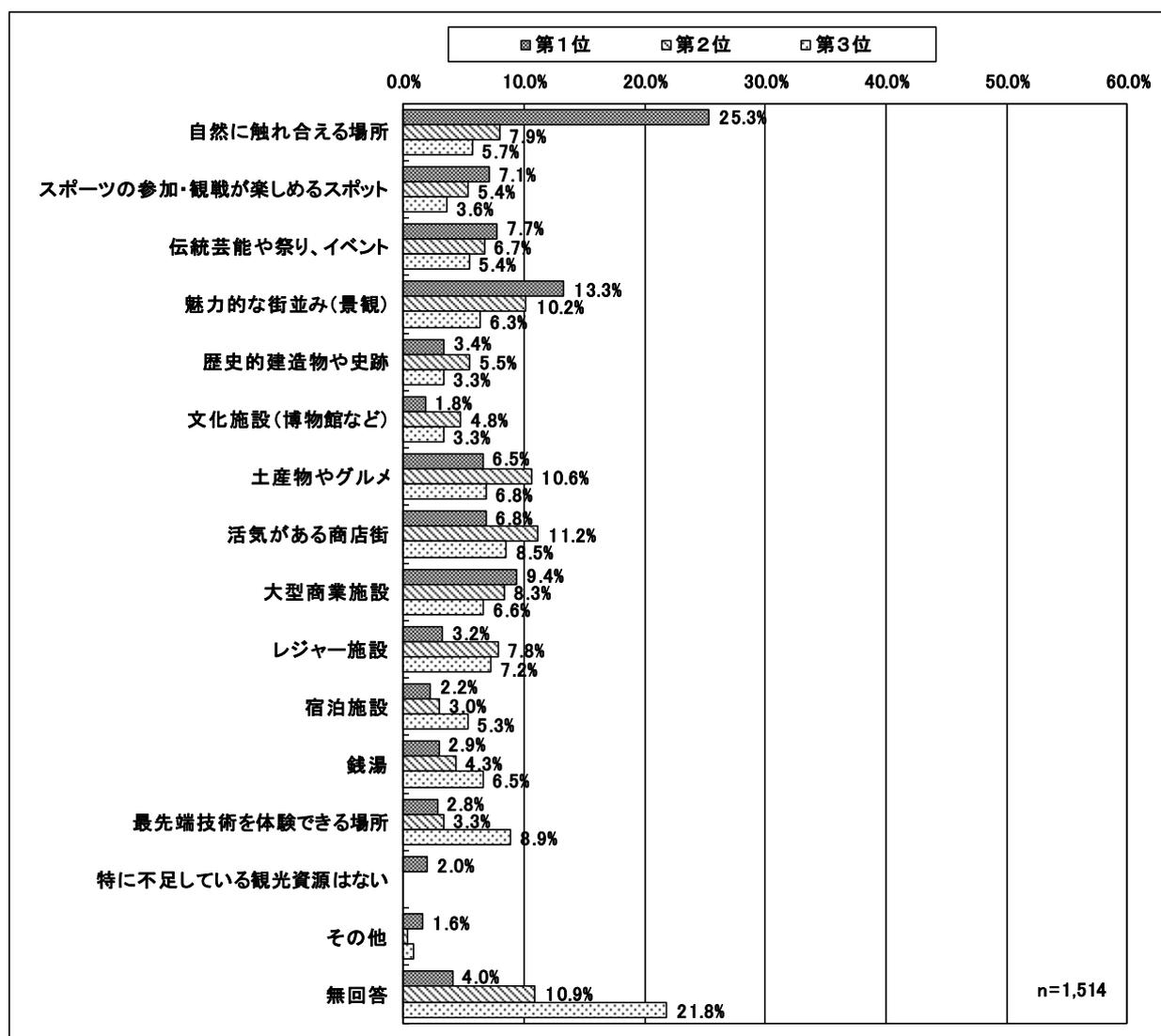
（特に充実させるべきだと感じるものを、最大3位まで選び、番号をご記入ください）

—第1位は、「自然に触れ合える場所」の25.3%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「自然に触れ合える場所」の25.3%であり、「魅力的な街並み」の13.3%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「活気がある商店街」が11.2%で最も高くなっている。

図表Ⅱ－9－1 充実させるべき観光資源

注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



10 文化（新型コロナウイルス感染症の流行前後における文化・芸術活動）

【本調査で対象としている文化・芸術に関わる事物】

音楽、美術、デザイン、映画、演劇、舞踊、文芸、歴史的な街並み・文化財・遺跡、地域で取り組んでいるイベント・祭り、芸能（歌舞伎・落語など）、サブカルチャー（アニメ、マンガなど）

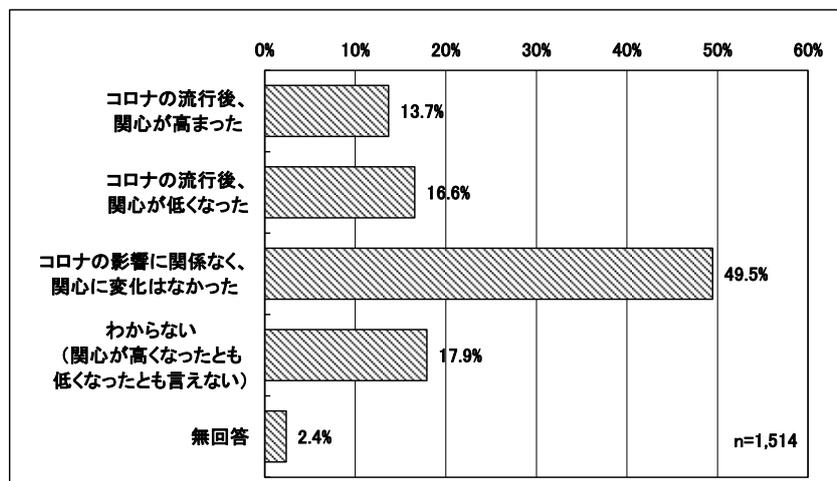
問 22 新型コロナウイルス感染症の流行前後における文化・芸術活動についてご回答ください。
（「関心」「鑑賞」「活動」の各項目、1つずつチェック）

（1）文化・芸術活動に対する関心

－「コロナの影響に関係なく、関心に変化はなかった」が49.5%で最も高い－

○「コロナの影響に関係なく、関心に変化はなかった」が49.5%で最も高く、以下、「わからない（関心が高くなったとも低くなったとも言えない）」の17.9%、「コロナの流行後、関心が低くなった」の16.6%の順となっている。

図表Ⅱ-10-1 文化・芸術活動に対する関心

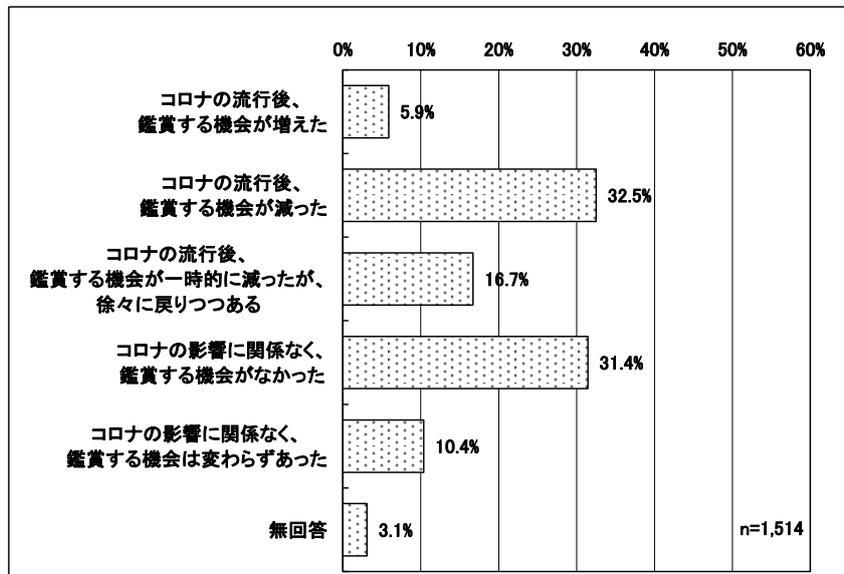


(2) 文化・芸術活動の鑑賞

－「コロナの流行後、鑑賞する機会が減った」が32.5%で最も高い－

○「コロナの流行後、鑑賞する機会が減った」が32.5%で最も高く、以下、「コロナの影響に関係なく、鑑賞する機会がなかった」の31.4%、「コロナの流行後、鑑賞する機会が一時的に減ったが、徐々に戻りつつある」の16.7%の順となっている。

図表Ⅱ－10－2 文化・芸術活動の鑑賞

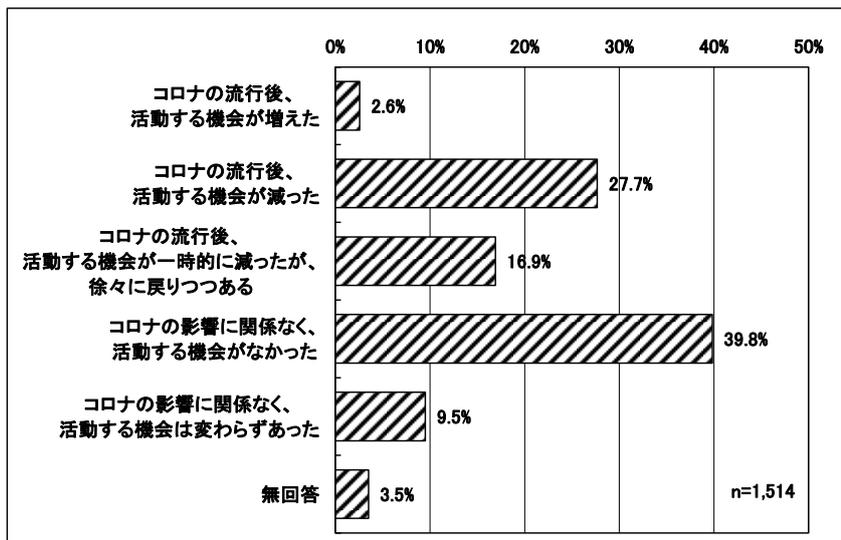


(3) 文化・芸術に関わる活動

－「コロナの影響に関係なく、活動する機会がなかった」が39.8%で最も高い－

○「コロナの影響に関係なく、活動する機会がなかった」が39.8%で最も高く、以下、「コロナの流行後、活動する機会が減った」の27.7%、「コロナの流行後、活動する機会が一時的に減ったが、徐々に戻りつつある」の16.9%の順となっている。

図表Ⅱ-10-3 文化・芸術に関わる活動



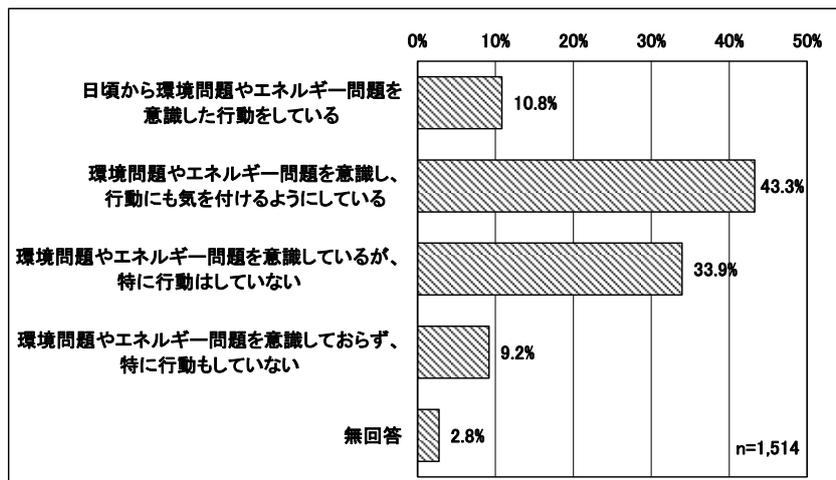
(1) 環境問題やエネルギー問題に対する意識と行動

問 23 環境問題やエネルギー問題に対する意識と行動についてご回答ください。
 (チェックは1つだけ)

－「日頃から環境問題やエネルギー問題を意識した行動をしている」と
 「環境問題やエネルギー問題を意識し、行動にも気を付けるようにしている」
 の合計は 54.1%となっている－

○「日頃から環境問題やエネルギー問題を意識した行動をしている (10.8%)」と「環境問題やエネルギー問題を意識し、行動にも気を付けるようにしている (43.3%)」の合計が 54.1%で、「環境問題やエネルギー問題を意識しているが、特に行動はしていない (33.9%)」と「環境問題やエネルギー問題を意識しておらず、特に行動もしていない (9.2%)」の合計の 43.1%を上回っている。

図表Ⅱ-11-1 環境問題やエネルギー問題に対する意識と行動



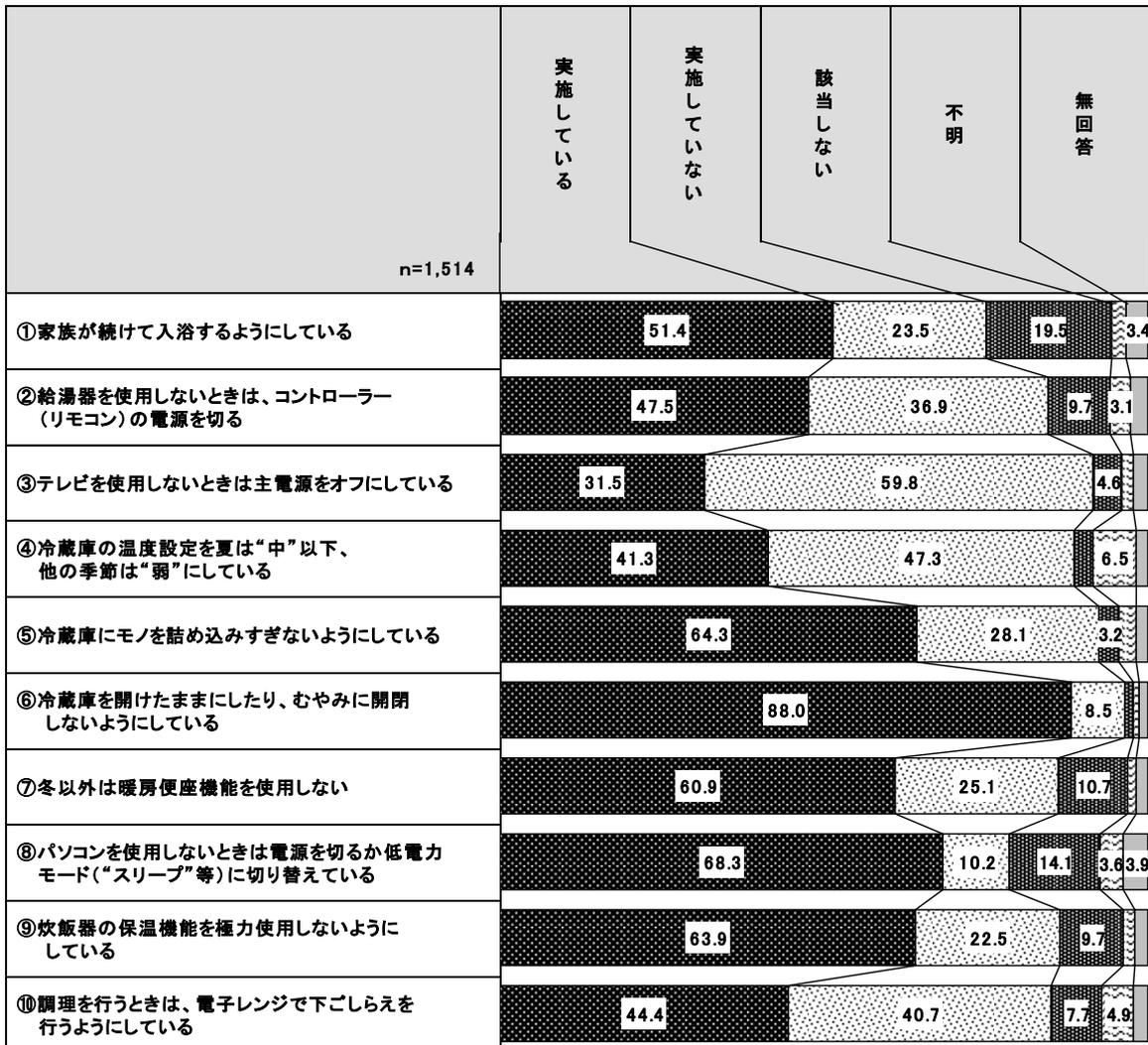
(2) 日常生活における省エネ行動

問 24 日常生活における、以下の省エネ行動についてご回答ください。
(各項目、1つずつチェック)

－「実施している」の回答率が最も高かったのは、「冷蔵庫を開けたままにしたり、むやみに開閉しないようにしている」の88.0%であり、
「実施していない」の回答率が最も高かったのは、
「テレビを使用しないときは主電源をオフにしている」の59.8%である－

- 「実施している」の回答率が最も高かったのは、「⑥冷蔵庫を開けたままにしたり、むやみに開閉しないようにしている」の88.0%であり、以下、「⑧パソコンを使用しないときは電源を切るか低電力モード(“スリープ”等)に切り替えている」の68.3%、「⑤冷蔵庫にモノを詰め込みすぎないようにしている」の64.3%の順となっている。
- 「実施していない」の回答率が最も高かったのは、「③テレビを使用しないときは主電源をオフにしている」の59.8%であり、以下、「④冷蔵庫の温度設定を夏は“中”以下、他の季節は“弱”にしている」の47.3%、「⑩調理を行うときは、電子レンジで下ごしらえを行うようにしている」の40.7%の順となっている。

図表Ⅱ-11-2 日常生活における省エネ行動
注) グラフの見やすさに配慮し、3%未満は表記を略している。



(3) 省エネ行動を実施していない理由

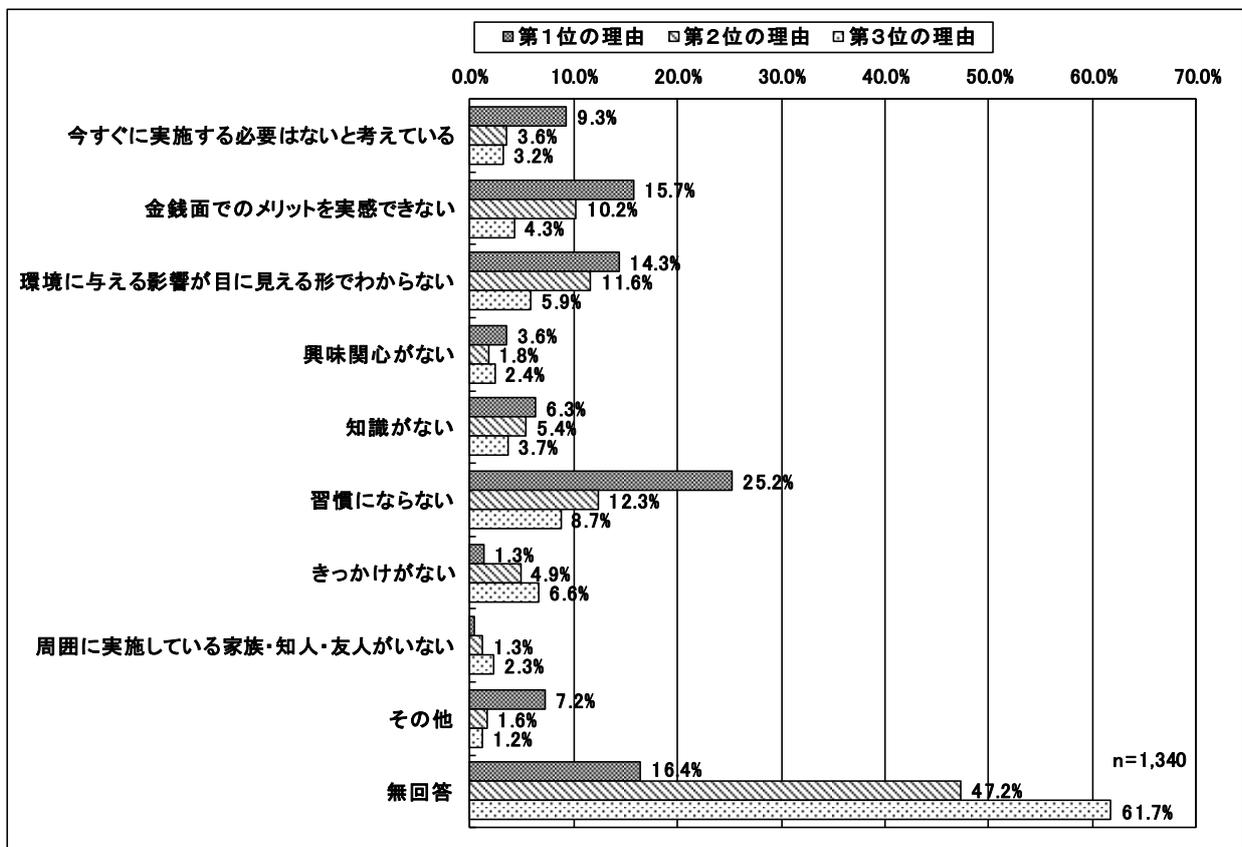
問 25 省エネ行動を実施していない理由についてご回答ください。

(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

—第1位は、「習慣にならない」の25.2%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「習慣にならない」の25.2%であり、「金銭面でのメリットを実感できない」の15.7%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率でも「習慣にならない」が12.3%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-11-3 省エネ行動を実施していない理由
注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



12 行政手続のオンライン化

【オンラインで利用できる大田区の行政手続の例】

- ①新型コロナウイルス関連（接種券の再発行、療養通知書交付申請等）
- ②妊娠出産支援（大田区産後家事・育児援助事業「びよびよサポート」等）
- ③児童医療（医療証の交付、再交付、変更申請等）
- ④児童手当（現況届、認定請求、額改訂請求等）
- ⑤子育て関連（バースデーサポート事業アンケート回答及び大田区子育て応援券交付申請等）
- ⑥公文書開示（開示請求等）
- ⑦転出届・転居届（転出届の窓口予約、転出届の作成等）

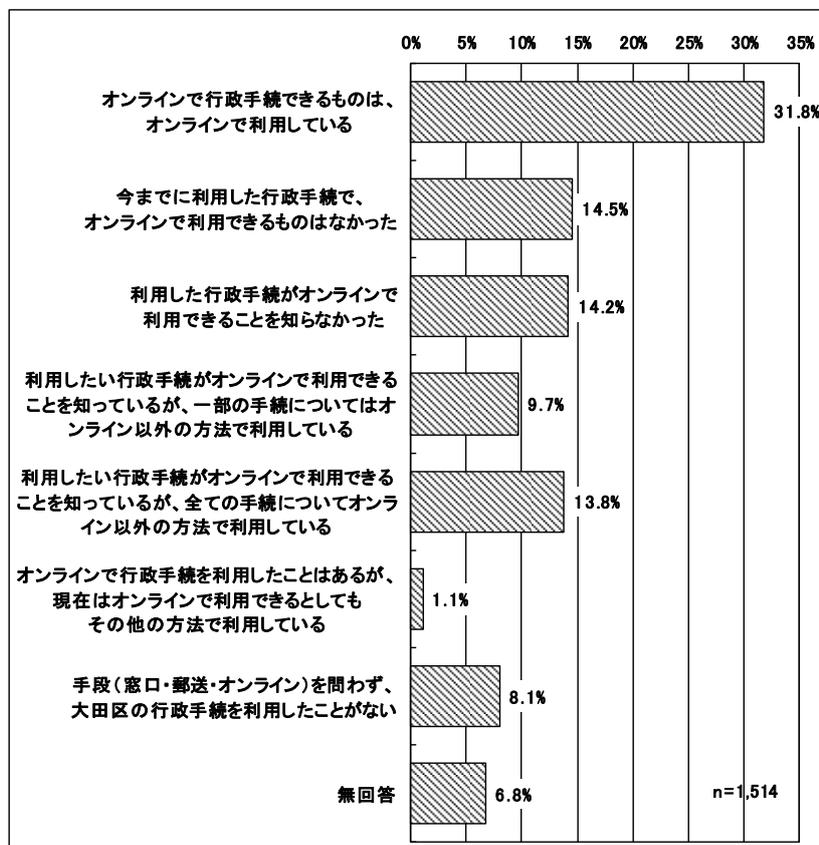
（１）オンラインによる区の行政手続の利用状況

問 26 大田区の行政手続の利用状況についてご回答ください。（チェックは1つだけ）

－「オンラインで行政手続できるものは、
オンラインで利用している」が31.8%で最も高い－

○「オンラインで行政手続できるものは、オンラインで利用している」が31.8%で最も高く、以下、「今までに利用した行政手続で、オンラインで利用できるものはなかった」の14.5%、「利用した行政手続がオンラインで利用できることを知らなかった」の14.2%の順となっている。

図表Ⅱ-12-1 オンラインによる区の行政手続の利用状況



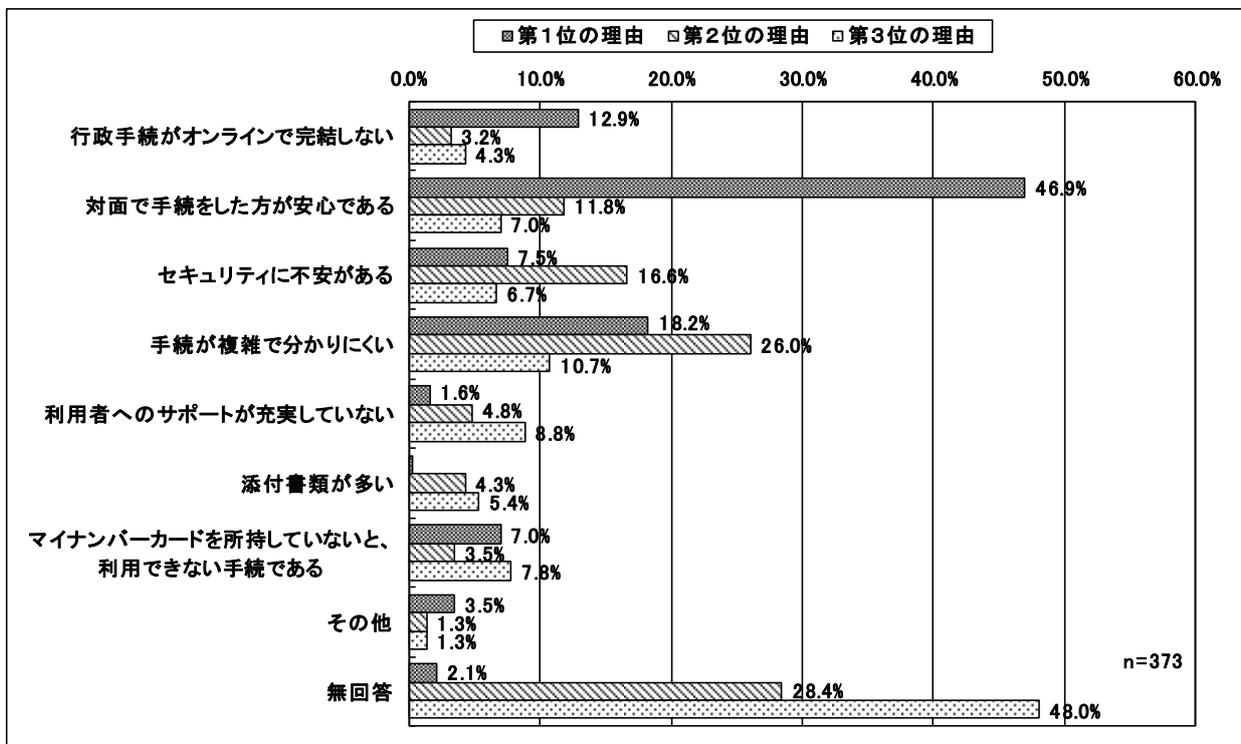
(2) オンラインによる区の行政手続を利用していない理由

問 27 オンラインで行政手続を利用していない理由についてご回答ください。
 (より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

— 第1位は、「対面で手続をした方が安心である」の46.9%で最も高い —

○第1位の回答率が最も高かったのは、「対面で手続をした方が安心である」の46.9%であり、「手続が複雑で分かりにくい」の18.2%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「手続が複雑で分かりにくい」が26.0%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-12-2 オンラインによる区の行政手続を利用していない理由
 注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



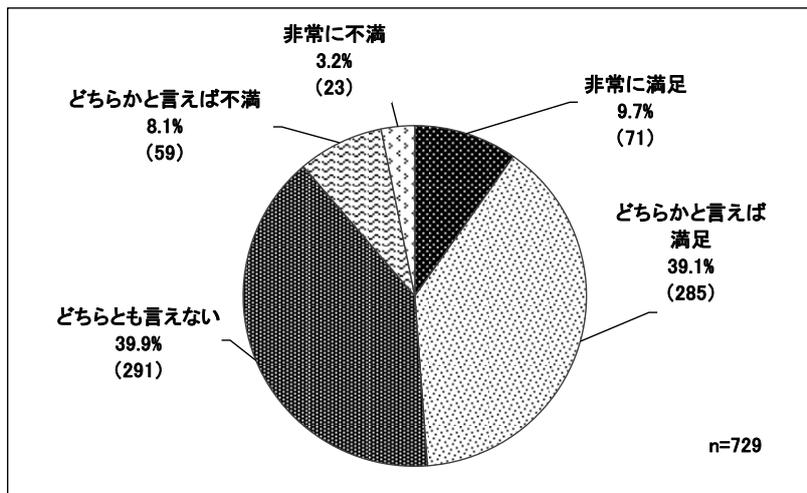
(3) 利用経験がある区のオンライン手続の満足度

問 28 利用経験があるオンライン手続の満足度についてご回答ください。
(チェックは1つだけ)

－ 『満足』が48.8%で、『不満』の11.2%を大きく上回っている－

○「非常に満足 (9.7%)」と「どちらかと言えば満足 (39.1%)」を合わせた『満足』が48.8%で、「どちらかと言えば不満 (8.1%)」と「非常に不満 (3.2%)」を合わせた『不満』の11.2%を大きく上回っている。

図表Ⅱ-12-3 利用経験がある区のオンライン手続の満足度



(4) 区のオンライン手続の満足度が低い理由

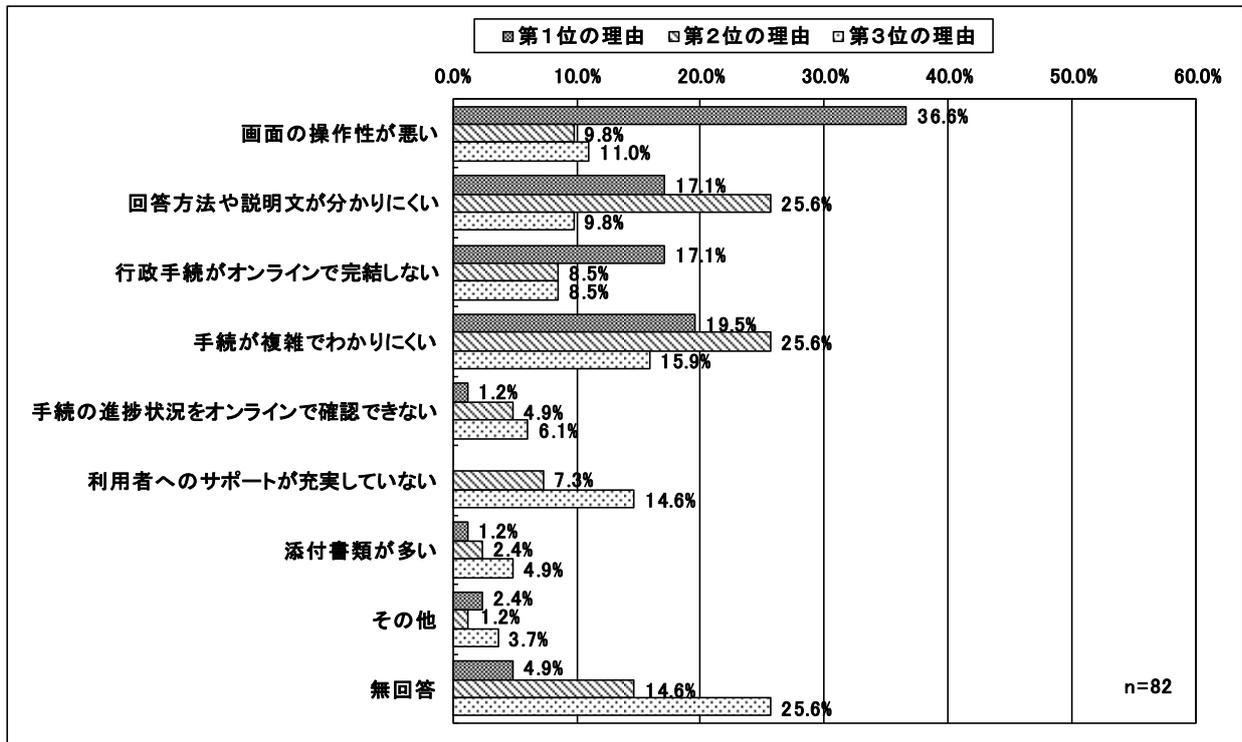
問 29 満足度が低い理由をご回答ください。

(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

—第1位は、「画面の操作性が悪い」の36.6%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「画面の操作性が悪い」の36.6%であり、「手続が複雑でわかりにくい」の19.5%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「回答方法や説明文がわかりにくい」及び「手続が複雑でわかりにくい」が25.6%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-12-4 区のオンライン手続の満足度が低い理由



【SDGsとは】

SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた「**持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)**」のことです。SDGsは、先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の3つの側面のバランスがとれた社会を目指す世界共通の目標として、貧困、飢餓、環境問題、経済成長やジェンダーに至る広範な課題を網羅しており、目標達成のための17のゴールとその課題ごとに設定された169のターゲット（達成基準）から構成されます。

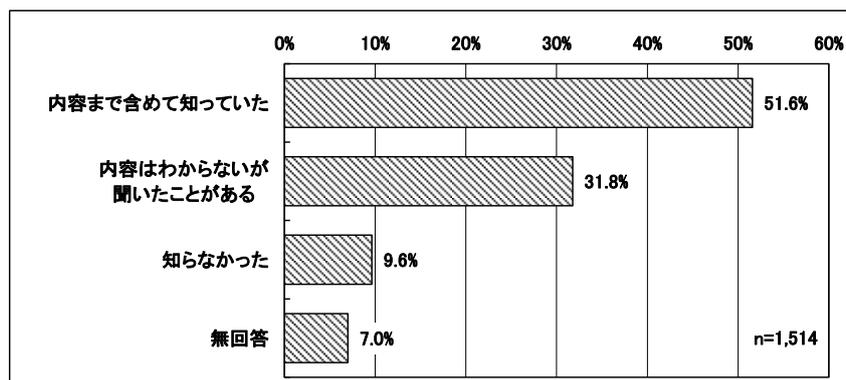
(1) SDGsに対する認知度・理解度

問30 SDGsについて知っていたかご回答ください。(チェックは1つだけ)

— 『SDGsに対する認知度』は83.4%となっている—

○「内容まで含めて知っていた」は51.6%、「内容はわからないが聞いたことがある」は31.8%であり、両者を合わせた『SDGsに対する認知度』は83.4%となっている。

図表Ⅱ-13-1 SDGsに対する認知度・理解度



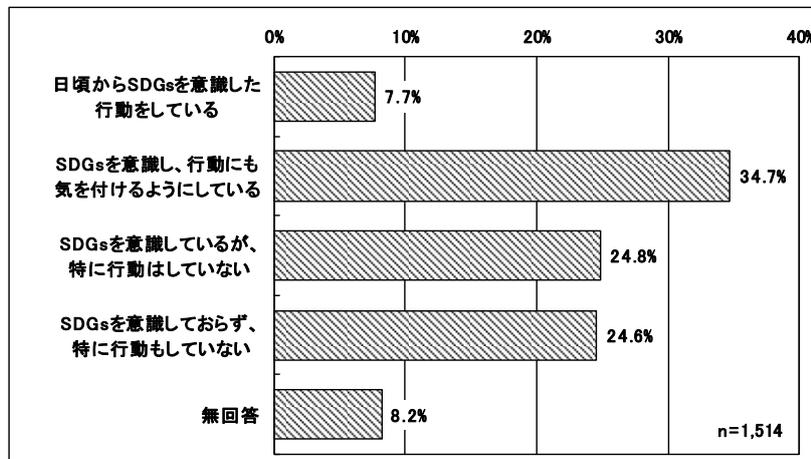
(2) SDGsに関する意識と行動

問 31 SDGsに関する意識と行動についてご回答ください。(チェックは1つだけ)

－「日頃からSDGsを意識した行動をしている」と「SDGsを意識し、行動にも気を付けるようにしている」の合計は42.4%となっている－

○「日頃からSDGsを意識した行動をしている (7.7%)」と「SDGsを意識し、行動にも気を付けるようにしている (34.7%)」の合計が42.4%で、「SDGsを意識しているが、特に行動はしていない (24.8%)」と「SDGsを意識しておらず、特に行動もしていない (24.6%)」の合計の49.4%を下回っている。

図表Ⅱ-13-2 SDGsに関する意識と行動



(3) SDGsに関する行動をしていない理由

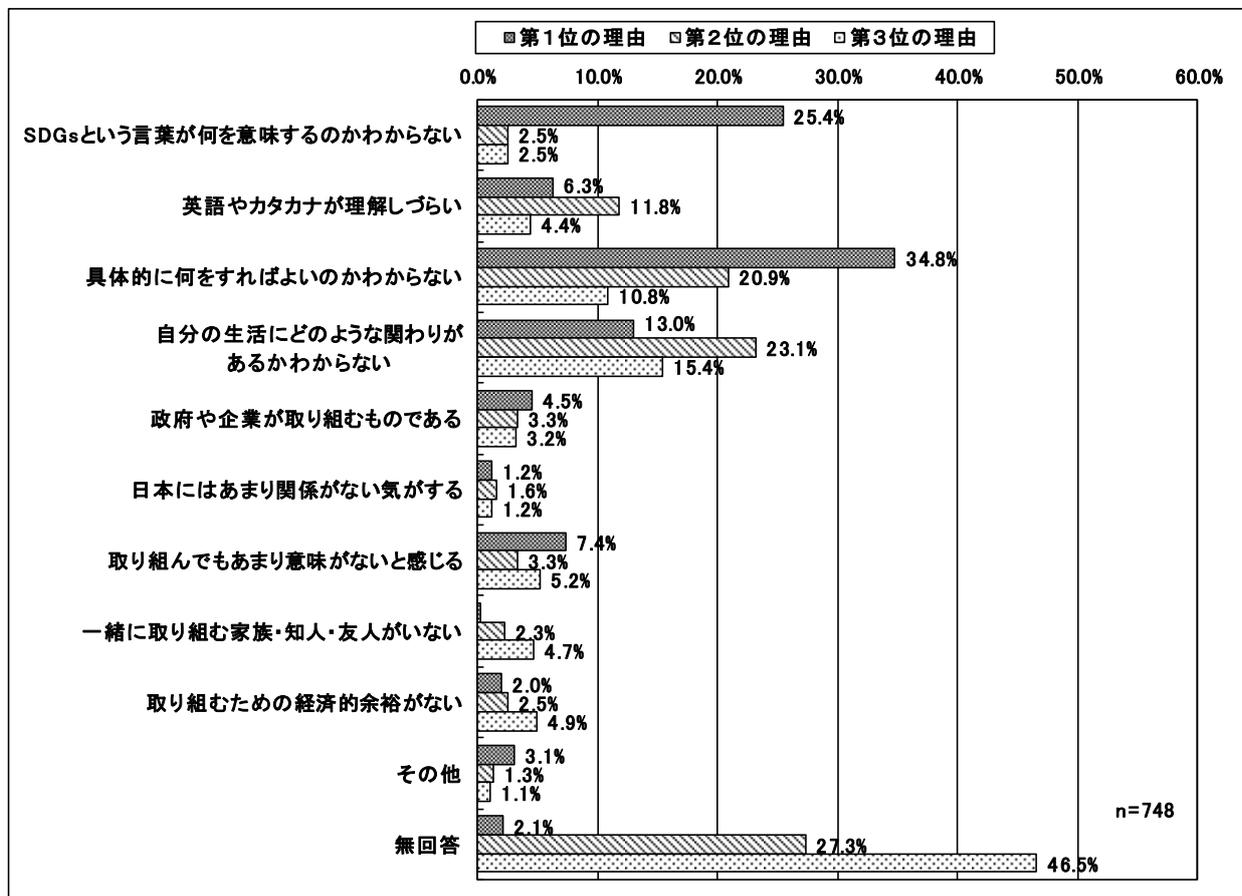
問 32 SDGsに関する行動をしていない理由についてご回答ください。

(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

—第1位は、「具体的に何をすればよいかわからない」の34.8%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「具体的に何をすればよいかわからない」の34.8%であり、「SDGsという言葉が何を意味するかわからない」の25.4%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「自分の生活にどのような関わりがあるかわからない」が23.1%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-13-3 SDGsに関する行動をしていない理由
注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



14 定住意向

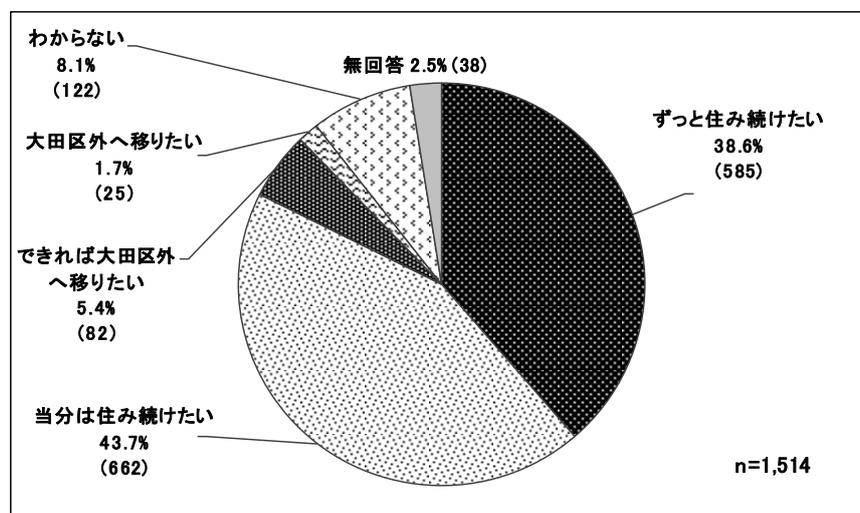
(1) 今後の定住意向

問 33 これからも大田区に住みたいと思うかご回答ください。(チェックは1つだけ)

一 『住み続けたい』が82.4%で、『区外へ移りたい』の7.1%を大きく上回っている一

○「ずっと住み続けたい(38.6%)」と「当分は住み続けたい(43.7%)」を合わせた『住み続けたい』が82.4%で、「できれば大田区外へ移りたい(5.4%)」と「大田区外へ移りたい(1.7%)」を合わせた『区外へ移りたい』の7.1%を大きく上回っている。

図表Ⅱ-14-1 今後の定住意向



(2) 区内に住み続けたい・区外へ移り住みたい理由

問 34 問 33 の回答理由についてご回答ください。

(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

①区内に住み続けたい理由

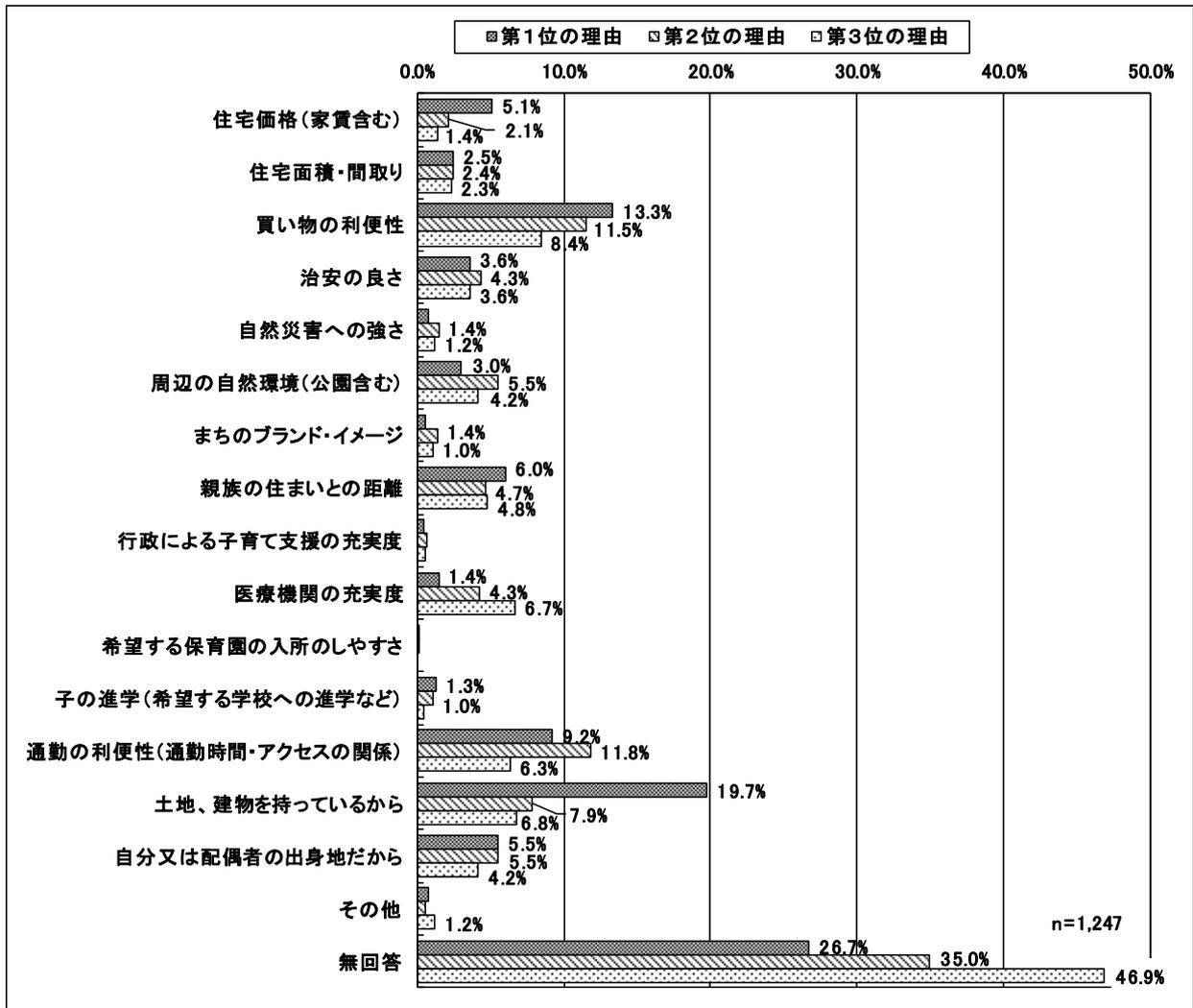
(問 33 で「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」を選択した方が対象)

—第1位は、「土地、建物を持っているから」の19.7%で最も高い—

○第1位の回答率が最も高かったのは、「土地、建物を持っているから」の19.7%であり、「買い物の利便性」の13.3%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「通勤の利便性」が11.8%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-14-2 区内に住み続けたい理由

注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



②区外へ移り住みたい理由

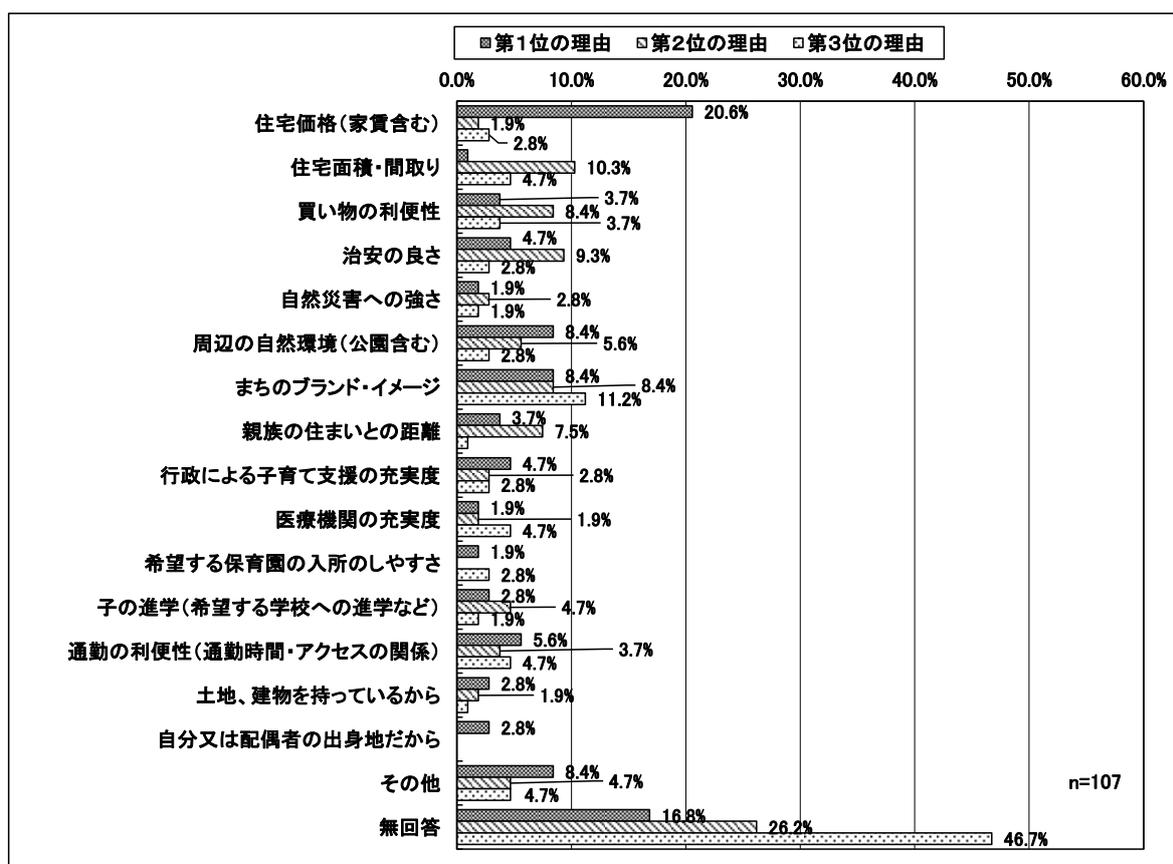
(問 33 で「できれば大田区外へ移りたい」、「大田区外へ移りたい」を選択した方が対象)

－第1位は、「住宅価格(家賃含む)」の20.6%で最も高い－

○第1位の回答率が最も高かったのは、「住宅価格(家賃含む)」の20.6%であり、「周辺の自然環境(公園含む)」及び「まちのブランド・イメージ」の8.4%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「住宅面積・間取り」が10.3%で最も高くなっている。

図表Ⅱ-14-3 区外へ移り住みたい理由

注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



15 施策要望（特に力を入れてほしい施策）

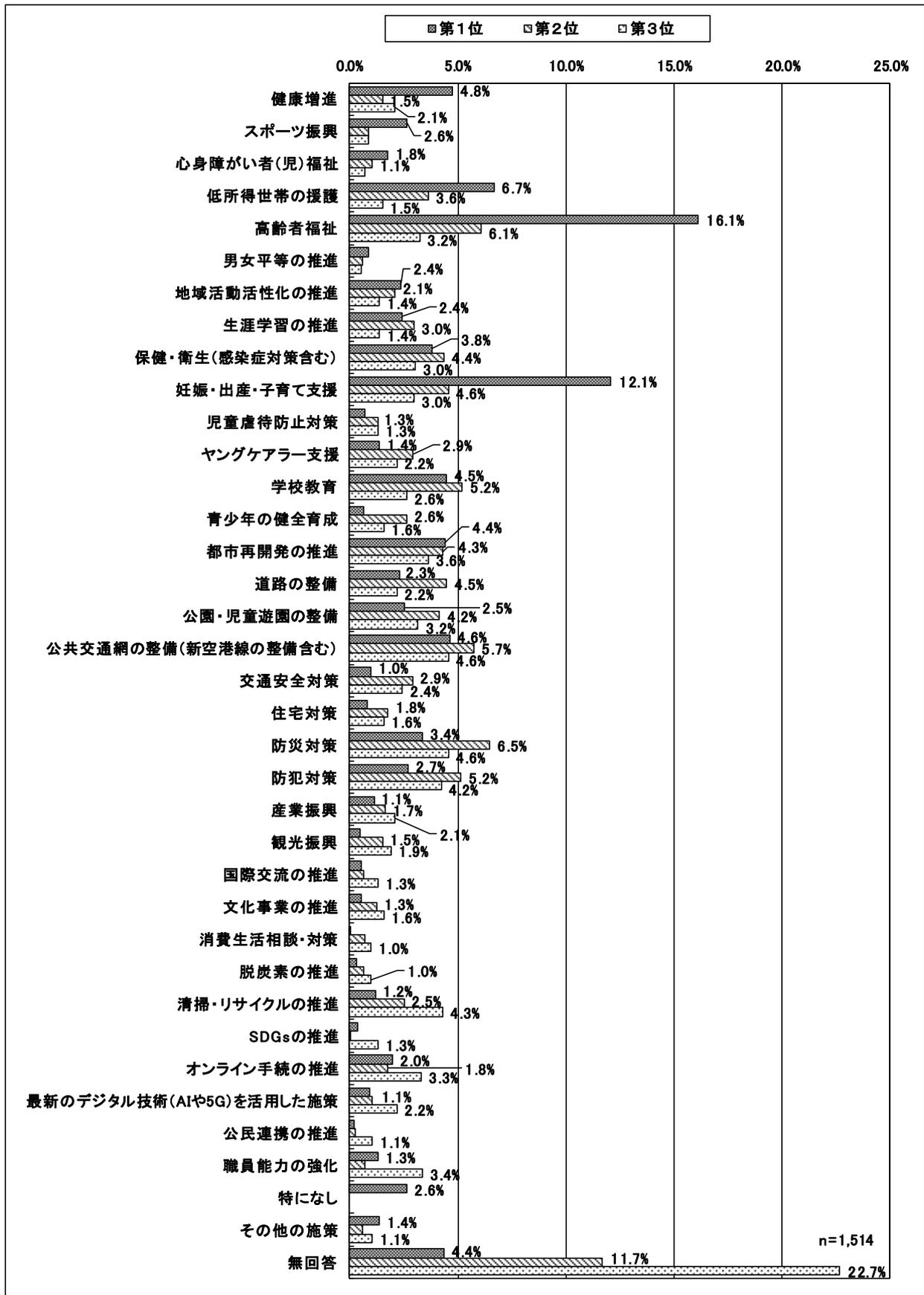
問 35 大田区で、特に力を入れてほしい施策についてご回答ください。
（より重要と思う施策を、最大3位まで選び、番号をご記入ください）

－第1位は、「高齢者福祉」の16.1%で最も高い－

○第1位の回答率が最も高かったのは、「高齢者福祉」の16.1%であり、「妊娠・出産・子育て支援」の12.1%がこれに次いでいるほか、第2位の回答率では、「防災対策」が6.5%で最も高くなっている。【図表Ⅱ－15－1】

図表Ⅱ-15-1 特に力を入れてほしい施策

注) グラフの見やすさに配慮し、1%未満は表記を略している。



区の現状把握及び課題抽出のためのアンケート調査報告書
【概要版】

令和5年3月

発行：大田区企画経営部企画課
〒144-8621
大田区蒲田五丁目13番14号
電話：03-5744-1735（直通）
FAX：03-5744-1502